

Z 8 活用ガイド

(ファームウェアバージョン 2.00
補足説明書)

目次

ファームウェアバージョンアップによる変更内容 (C:2.00)	5
ファームウェアバージョン (C:2.00) による機能の追加・変更について.....	5
ファームウェアバージョンについて.....	5
ファームウェア (C:2.00) による変更点一覧.....	6
静止画撮影関連.....	6
動画撮影関連.....	6
再生関連.....	6
操作関連.....	7
表示関連.....	7
ネットワーク関連.....	7
オートフォーカス時に優先してフォーカスを合わせる被写体として【鳥】が追加.....	8
オートブラケット撮影時のステップ幅が追加.....	9
ピクチャーコントロールに新しい項目が追加.....	10
調整項目について.....	11
[JPEG+JPEG 分割記録] と [HEIF+HEIF 分割記録] の画像サイズに【サイズ L】が追加.....	12
静止画撮影メニューに【ピクセルシフト撮影】が追加.....	13
ピクセルシフト撮影の撮影方法.....	14
静止画撮影メニューと動画撮影メニューに【オートキャプチャー】が追加.....	19
オートキャプチャー設定画面について.....	20
オートキャプチャー撮影の撮影方法.....	22
「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影のプリキャプチャー時間の変更.....	37
スローモーション動画機能の追加.....	38
ハイレゾズーム合焦表示の色が変更.....	40
N-Log 動画撮影時の ISO 感度に低感度が追加.....	41
カスタムメニュー g8【ハイレゾズーム速度】で設定できるハイレゾズーム速度の変更.....	42
再生時の <i>i</i> メニュー項目【送信指定 (PC)】、【送信指定 (FTP)】の機能変更.....	43
再生時の <i>i</i> メニュー項目に【優先送信指定 (PC)】と【優先送信指定 (FTP)】が追加.....	44
動画再生時の <i>i</i> メニュー項目に【再生の速度】が追加.....	45
再生メニュー【グループ再生の設定】に【自動連続再生の設定】が追加.....	46
再生メニューに【縦横位置情報の記録】が追加.....	47

パワースームレンズの操作に対応.....	48
カスタムメニュー f12 として [パワースームのボタン操作 (PZ レンズ)] が追加.....	48
カスタムメニュー g9 として [パワースームのボタン操作 (PZ レンズ)] が追加.....	48
セットアップメニュー [ズーム位置の記憶 (PZ レンズ)] が追加.....	49
焦点距離の表示.....	49
カスタムメニュー a11 [フォーカスポイント表示] に [フォーカスポイントの太さ] が追加...	50
カスタムメニュー d5 に [露出ディレーモード] が追加.....	51
カスタムメニュー d18 と g17 に [半押し拡大解除 (MF)] が追加.....	52
撮影機能の呼び出し中に露出補正とホワイトバランスの設定の変更が可能.....	53
カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] と g2 [カスタムボタンの機能] に機能追加	54
設定をリセットする機能の追加.....	54
機能を割り当てられるボタンの追加.....	54
f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] に追加された機能.....	55
g2 [カスタムボタンの機能] に追加された機能.....	56
カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] に機能追加.....	57
設定をリセットする機能の追加.....	57
機能を割り当てられるボタンの追加.....	57
追加された機能.....	58
セットアップメニュー [カードの初期化 (フォーマット)] での物理フォーマット方法の変更..	60
物理フォーマットの方法.....	60
セットアップメニュー [レンズ情報手動設定] の機能変更.....	62
セットアップメニュー [IPTC] で編集できる「Category」の登録文字数の変更.....	63
セットアップメニュー [電子音] のメニュー項目の変更.....	64
撮影画面の表示が最大 400%まで拡大可能.....	65
セットアップメニュー [ファインダー表示サイズ (静止画 Lv)] が [ファインダー表示サイズ] に 変更.....	66
マニュアルフォーカス撮影時に表示されるフォーカス距離指標に距離表示機能が追加.....	67
ネットワークメニュー [FTP サーバーと接続] の機能変更と機能追加.....	68
メモリーカードに保存できる FTP サーバーとの接続設定が 99 件まで増加.....	68
接続エラー時に自動で再接続する機能の追加.....	68
連動リリースモードの設定方法の変更.....	69
連動リリース用の接続設定を作成して撮影する.....	69
ネットワークメニュー [カメラと接続] に [著作権情報の上書き] が追加.....	87

リモートグリップ MC-N10 と AirGlu アクセサリーの併用が可能.....	88
ファームウェア C:2.00 でのメニュー・初期設定一覧.....	89
静止画撮影メニュー.....	89
動画撮影メニュー.....	91
カスタムメニュー.....	93
再生メニュー.....	99
セットアップメニュー.....	100
ネットワークメニュー.....	102
マイメニュー/最近設定した項目.....	104
ファームウェア C:2.00 での主な仕様.....	105
索引.....	116
索引.....	116
マーク・英数字.....	116
ア.....	116
カ.....	116
サ.....	116
タ.....	116
ハ.....	116
ヤ.....	117
ラ.....	117

ファームウェアバージョンアップによる 変更内容 (C:2.00)

ファームウェアバージョン (C:2.00) による 機能の追加・変更について

Z8「活用ガイド」の内容は、ファームウェアのバージョンが C:1.01 であることを前提に説明していません（最新の活用ガイドはダウンロードセンターからダウンロードできます）。お使いのカメラのファームウェアが C:2.00 の場合、この章の内容が追加または変更されています。合わせてお読みください。

ファームウェアバージョンについて

カメラのファームウェアバージョン確認およびバージョンアップは、セットアップメニュー [ファームウェアバージョン] で行えます。

カメラのファームウェアをバージョンアップするには、パソコンをお使いになる方法とスマートフォンをお使いになる方法があります。

- **パソコンをお使いの場合**：ニコンダウンロードセンターで新しいバージョンのファームウェアがあるか確認できます。バージョンアップの手順については、ファームウェアのダウンロードページをご覧ください。

<https://downloadcenter.nikonimglib.com/>

- **スマートフォンをお使いの場合**：SnapBridge アプリでカメラとスマートフォンをペアリング済みの場合、カメラの新しいファームウェアがあるとアプリにお知らせが表示され、スマートフォン経由でファームウェアをカメラ内のメモリーカードに転送できます。バージョンアップの手順については、SnapBridge アプリのヘルプをご覧ください。お知らせが表示されるタイミングは、ニコンダウンロードセンターで公開されるタイミングと異なる場合があります。

ファームウェア (C:2.00) による変更点一覧

カメラのファームウェアを C:2.00 にバージョンアップすると、次の機能に変更があります。詳しくは各参照先をご覧ください。ファームウェア C:2.00 でのメニューおよび初期設定については「ファームウェア C:2.00 でのメニュー・初期設定一覧」([🔗 89](#))をご覧ください。

静止画撮影関連

- オートフォーカス時に優先してフォーカスを合わせる被写体として [鳥] が追加 ([🔗 8](#))
- オートブラケティング撮影時のステップ幅が追加 ([🔗 9](#))
- ピクチャーコントロールに新しい項目が追加 ([🔗 10](#))
- [JPEG+JPEG 分割記録] と [HEIF+HEIF 分割記録] の画像サイズに [サイズ L] が追加 ([🔗 12](#))
- 静止画撮影メニューに [ピクセルシフト撮影] が追加 ([🔗 13](#))
- 静止画撮影メニューに [オートキャプチャー] が追加 ([🔗 19](#))
- 「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影のプリキャプチャー時間の変更 ([🔗 37](#))

動画撮影関連

- オートフォーカス時に優先してフォーカスを合わせる被写体として [鳥] が追加 ([🔗 8](#))
- ピクチャーコントロールに新しい項目が追加 ([🔗 10](#))
- 動画撮影メニューに [オートキャプチャー] が追加 ([🔗 19](#))
- スローモーション動画機能の追加 ([🔗 38](#))
- ハイレゾズーム合焦表示の色が変更 ([🔗 40](#))
- N-Log 動画撮影時の ISO 感度に低感度が追加 ([🔗 41](#))
- カスタムメニュー g8 [ハイレゾズーム速度] で設定できるハイレゾズーム速度の変更 ([🔗 42](#))

再生関連

- 再生時の *i* メニュー項目 [送信指定 (PC)]、[送信指定 (FTP)] の機能変更 ([🔗 43](#))
- 再生時の *i* メニュー項目に [優先送信指定 (PC)] と [優先送信指定 (FTP)] が追加 ([🔗 44](#))
- 動画再生時の *i* メニュー項目に [再生の速度] が追加 ([🔗 45](#))
- 再生メニュー [グループ再生の設定] に [自動連続再生の設定] が追加 ([🔗 46](#))
- 再生メニューに [縦横位置情報の記録] が追加 ([🔗 47](#))

操作関連

- パワースームレンズの操作に対応 ([🔗 48](#))
- カスタムメニュー a11 [フォーカスポイント表示] に [フォーカスポイントの太さ] が追加 ([🔗 50](#))
- カスタムメニュー d5 に [露出ディレイモード] が追加 ([🔗 51](#))
- カスタムメニュー d18 と g17 に [半押し拡大解除 (MF)] が追加 ([🔗 52](#))
- 撮影機能の呼び出し中に露出補正とホワイトバランスの設定の変更が可能 ([🔗 53](#))
- カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] と g2 [カスタムボタンの機能] に機能追加 ([🔗 54](#))
- カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] に機能追加 ([🔗 57](#))
- セットアップメニュー [カード初期化 (フォーマット)] での物理フォーマット方法の変更 ([🔗 60](#))
- セットアップメニュー [レンズ情報手動設定] の機能変更 ([🔗 62](#))
- セットアップメニュー [IPTC] で編集できる「Category」の登録文字数の変更 ([🔗 63](#))
- セットアップメニュー [電子音] のメニュー項目の変更 ([🔗 64](#))

表示関連

- 撮影画面の表示が最大 400%まで拡大可能 ([🔗 65](#))
- セットアップメニュー [ファインダー表示サイズ (静止画 Lv)] が [ファインダー表示サイズ] に変更 ([🔗 66](#))
- マニュアルフォーカス撮影時に表示されるフォーカス距離指標に距離表示機能が追加 ([🔗 67](#))

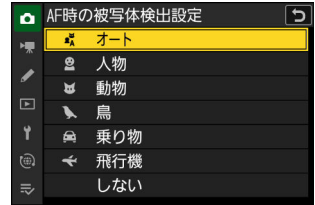
ネットワーク関連

- ネットワークメニュー [FTP サーバーと接続] の機能変更と機能追加 ([🔗 68](#))
- 連動レリーズモードの設定方法の変更 ([🔗 69](#))
- ネットワークメニュー [カメラと接続] に [著作権情報の上書き] が追加 ([🔗 87](#))
- リモートグリップ MC-N10 と AirGlu アクセサリーの併用が可能 ([🔗 88](#))

オートフォーカス時に優先してフォーカスを合わせる被写体として【鳥】が追加

静止画撮影メニューまたは動画撮影メニュー【AF時の被写体検出設定】でオートフォーカス使用時に優先してフォーカスを合わせる被写体として【鳥】が追加されました。

- 動画撮影メニューの場合、【AF時の被写体検出設定】>【被写体検出】で設定します。静止画モードと動画モードでそれぞれ異なる被写体を設定できます。
- 【鳥】に設定した場合、カメラが鳥の顔を検出すると顔にフォーカスポイントが表示されます。瞳を検出できるときは、左右どちらかの瞳にフォーカスポイントが表示されます。顔または瞳が検出できなかった場合、鳥の全身を検出してフォーカスポイントが表示されます。

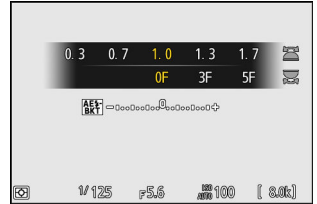
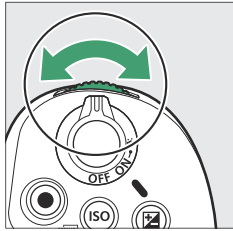
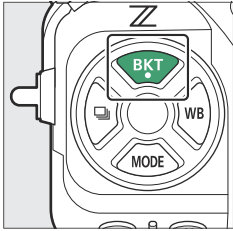


✓ 鳥 AF についてのご注意

- 次のような場合は、正常に検出できないことがありますので、ご注意ください。
 - 顔が画面に対して大きい/小さい場合
 - 顔が明るすぎる/暗すぎる場合
 - 羽毛などで目や顔が隠れている場合
 - 瞳と周辺部位の色が近い場合
 - 鳥の動きが大きすぎる場合
- 鳥以外でも、類似した動物や物体に枠が表示されることがあります。鳥以外の検出が目立つ場合、AF エリアモードをより狭い設定に変更すると改善されることがあります。
- 蛍光灯や水銀灯などの光源下では、静止画撮影時にちらつき（フリッカー現象）が通常よりも発生しやすくなります。
 - 静止画撮影メニュー【静止画フリッカー低減】を【ON】にするとフリッカー現象の影響を低減できます。
 - フリッカー現象が発生していない場合は静止画撮影メニュー【静止画フリッカー低減】を【OFF】にしておくことをおすすめします。
- AF 補助光が鳥の瞳に悪影響をおよぼす可能性があるため、カスタムメニュー a12【内蔵 AF 補助光の照射設定】を【OFF】に設定してください。

オートブラケティング撮影時のステップ幅が追加

静止画撮影メニュー [オートブラケティング] > [オートブラケティングのセット] を [AE・フラッシュブラケティング]、[AEブラケティング]、または [フラッシュブラケティング] に設定している場合に、選べる補正ステップ数が増えました。



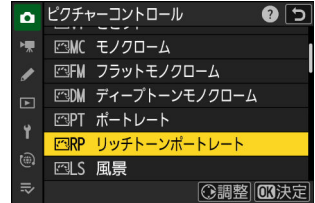
- カスタムメニュー b2 [露出設定ステップ幅] の設定が 1/3 段の場合、補正ステップに 1.3、1.7、2.3、2.7 が追加されました。
- カスタムメニュー b2 [露出設定ステップ幅] の設定が 1/2 段の場合、補正ステップに 1.5、2.5 が追加されました。
- 補正ステップを 2.0 よりも大きい値に設定した場合、撮影コマ数は最大 5 枚です。




ヒント：インターバルタイマー撮影時の AE ブラケティングについて

静止画撮影メニュー [インターバルタイマー撮影] > [オプション] > [AE ブラケティング] > [補正ステップ] でも補正ステップが追加されています。

ピクチャーコントロールに新しい項目が追加

静止画撮影メニューと動画撮影メニューの【ピクチャーコントロール】に次の3項目が追加されました。



項目	内容
 [フラットモノクローム]	シャドー部からハイライト部までゆるやかに表現し、柔らかい印象のモノクロ画像になります。
 [ディープトーンモノクローム]	シャドー部から中間調までは暗めに、中間調からハイライト部は急激に明るいモノクロ画像になります。
 [リッチトーンポートレート]	白飛びを抑えながら人物の肌のディテールを表現し、[ポートレート]よりもメリハリのある画像になります。撮影した画像を調整、加工する場合にも適しています。

- 静止画撮影メニューと動画撮影メニューの【カスタムピクチャーコントロール】で元にするピクチャーコントロールにも【フラットモノクローム】、【ディープトーンモノクローム】、【リッチトーンポートレート】が追加されました。

ピクチャーコントロールで【フラットモノクローム】、【ディープトーンモノクローム】を選んでいる場合の制限について
【フラットモノクローム】、【ディープトーンモノクローム】を選んでいる場合、静止画撮影メニューおよび動画撮影メニューの【人物印象調整】は無効になります。


調整項目について

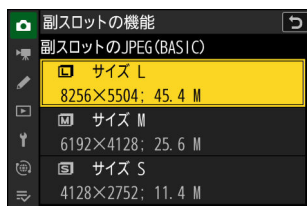
- [フラットモノクローム] または [ディープトーンモノクローム] を選んでいる場合の調整項目は次の通りです。
 - [クイックシャープ]
 - [輪郭強調]
 - [ミドルレンジシャープ]
 - [明瞭度]
 - [コントラスト]
 - [明るさ]
 - [フィルター効果]
 - [調色]
- [リッチトーンポートレート] を選んでいる場合の調整項目は次の通りです。
 - [クイックシャープ]
 - [輪郭強調]
 - [ミドルレンジシャープ]
 - [明瞭度]
 - [コントラスト]
 - [明るさ]
 - [色の濃さ (彩度)]
 - [色合い (色相)]

ピクチャーコントロールで [ディープトーンモノクローム] を選んでいる場合の [フィルター効果] について

[ディープトーンモノクローム] は、[フィルター効果] を [OFF] にしていても、あらかじめ強い R フィルターがかかっています。[フィルター効果] は重ねがけできないため、[OFF] 以外を選ぶと、あらかじめかかっていた R フィルターが無効になった状態でフィルターが適用されます。コントラストを弱めたい場合に [Y]、[O]、[R] に設定することをおすすめします。

【JPEG+JPEG 分割記録】と【HEIF+HEIF 分割記録】の画像サイズに【サイズ L】が追加

静止画撮影メニュー「副スロットの機能」で【JPEG+JPEG 分割記録】または【HEIF+HEIF 分割記録】を選んだ場合の副スロットに記録する画像サイズに、【サイズ L】が追加されました。画像サイズは【JPEG+JPEG 分割記録】または【HEIF+HEIF 分割記録】を選んで  を押すと設定できます。



静止画撮影メニューに【ピクセルシフト撮影】が追加

静止画撮影メニューに【ピクセルシフト撮影】が追加されました。撮像素子の位置を変えながら自動的に複数のRAW画像を撮影します。撮影したRAW画像をニコンのソフトウェアNX Studioを使用して合成すると、通常よりも高画質な画像を生成できます。

項目	内容
【ピクセルシフト撮影モード】	<ul style="list-style-type: none">• 【する（連続）】：解除するまで連続してピクセルシフト撮影できます。ピクセルシフト撮影モードを解除するには、もう一度【ピクセルシフト撮影モード】を選んで【しない】に設定してください。• 【する（1回）】：1回撮影を終了すると、ピクセルシフト撮影モードが解除されます。• 【しない】：ピクセルシフト撮影モードを解除します。
【撮影コマ数】	シャッターボタンを1回全押しして撮影するコマ数を設定します。撮影するコマ数が多いほど撮影にかかる時間が長くなりますが、合成した画像の画質は高くなります。
【ディレイ】	シャッターボタンを全押ししてからピクセルシフト撮影を開始するまでの時間を設定します。
【待機時間】	コマ間の撮影間隔を秒単位で設定できます。

ピクセルシフト撮影の撮影方法

✓ ピクセルシフト撮影を開始する前に

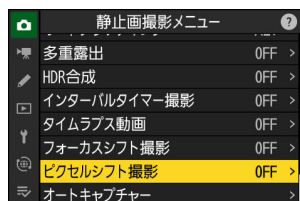
- ピクセルシフト撮影は、風景や建築物などの動かない被写体を三脚を使用して撮影することを想定しています。このため、被写体が動いた場合や三脚を使用せずに撮影した場合は想定した結果にならないことがあります。
- ピクセルシフト合成した画像の画質を向上させるために、撮影前にセットアップメニュー [ピクセルマッピング] を実行することをおすすめします。
- 試し撮りをすることをおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、次のいずれかをお使いください。
 - 十分に充電したバッテリー
 - 別売の本体充電 AC アダプター EH-7P
 - 別売の AC アダプター EH-8P と USB ケーブル UC-E25 (両端が Type-C)
 - 別売のパワーコネクタ EP-5B と AC アダプター EH-5d/EH-5c/EH-5b

✓ NX Studio について

ニコンダウンロードセンターから最新のインストーラーをダウンロードしてインストールしてください。最新のバージョンではない場合、ピクセルシフト合成に対応していないことがあります。

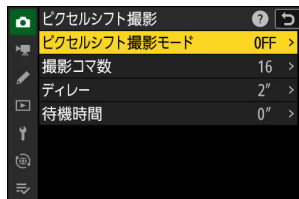
1 三脚などを使ってカメラを固定する

2 静止画撮影メニューの [ピクセルシフト撮影] を選んでマルチセクターの を押す

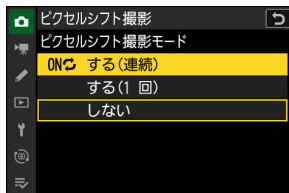


3 【ピクセルシフト撮影モード】を設定する

- 【ピクセルシフト撮影モード】を選んで \odot を押します。



- \odot を押して [する (連続)] または [する (1 回)] を選び、 \odot を押します。
 - 画質モードは [RAW] に固定されます。

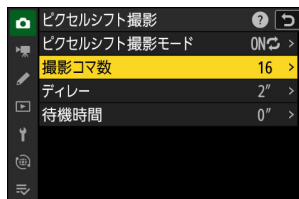


- 撮影画面にアイコンが表示されます。

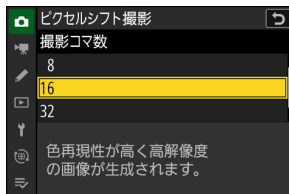


4 【撮影コマ数】を設定する

- 【撮影コマ数】を選んで \odot を押します。

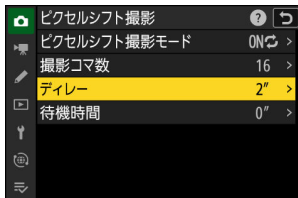


- \odot を押してコマ数を設定し、 \odot を押します。



5 [ディレイ] を設定する

- [ディレイ] を選んで \odot を押します。シャッターボタンを全押ししてからピクセルシフト撮影を開始するまでの時間を設定します。

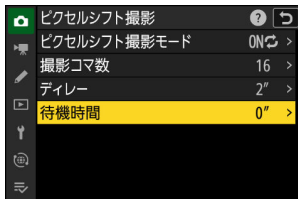


- \odot を押して秒数を設定し、 \otimes を押します。



6 [待機時間] を設定する

- [待機時間] を選んで \odot を押します。コマ間の撮影間隔を秒単位で設定できます。

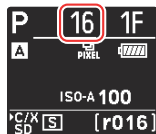


- \odot を押して秒数を設定し、 \otimes を押します。



7 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、[撮影コマ数] で設定したコマ数が表示パネルに表示され、[ディレイ] で設定した時間が経過した後に設定したコマ数の RAW 画像を撮影します。



- [撮影コマ数] で設定したコマ数が多い場合、撮影にかかる時間が長くなります。
- [ピクセルシフト撮影モード] が [する (連続)] の場合、[しない] を選んでピクセルシフト撮影モードを解除するまでピクセルシフト撮影モードで撮影できます。
- [ピクセルシフト撮影モード] が [する (1回)] の場合、1回撮影するとピクセルシフト撮影モードが解除されます。


8 撮影した RAW 画像を NX Studio で合成する

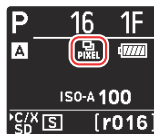
- 画像の合成方法は NX Studio のヘルプをご覧ください。
- 撮影時に被写体が動いた場合や、被写体の明るさが変化した場合は撮影した RAW 画像が正しく合成されないことがあります。

ピクセルシフト撮影を途中で終了するには

ピクセルシフト撮影を途中で終了するには、次の撮影までの間にシャッターボタンを半押しするか、**ⓧ** ボタンを押してください。

ピクセルシフト撮影の待機状態について

ピクセルシフト撮影の待機状態では、表示パネルの  が点滅します。



✔ ピクセルシフト撮影についてのご注意

- レリーズモードを連続撮影に設定した場合にシャッターボタンを全押しし続けても連続撮影しません。
- ピクセルシフト撮影中にカメラの設定を変更すると、ピクセルシフト撮影が終了する場合があります。
- 長時間露出（バルブまたはタイム）撮影はできません。シャッタースピードを **Bulb**（バルブ）または **Time**（タイム）に設定すると、撮影画面および表示パネルの [**Bulb**]（バルブ）または [**Time**]（タイム）表示が点滅します。
- オートフォーカスで撮影する場合、フォーカスモードは **AF-S** に固定されます。**AF-C** 時のみ設定できる AF エリアモードを選んでいた場合、シングルポイント AF に切り替わります。
- カスタムメニュー d6 [**M モード時のシャッタースピード延長**] は [**OFF**] に固定されます。

✔ ピクセルシフト撮影の制限について

次の場合など、ピクセルシフト撮影とは同時に使用できない機能や設定があります。

- 動画撮影
- セルフタイマー撮影
- 「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影
- 長秒時ノイズ低減
- 静止画フリッカー低減
- 手ブレ補正
- オートブラケット撮影
- 多重露出撮影
- HDR 合成
- インターバルタイマー撮影
- タイムラプス動画撮影
- フォーカスシフト撮影
- オートキャプチャー撮影
- 露出ディレイモード
- パワーセーブ（静止画モード）

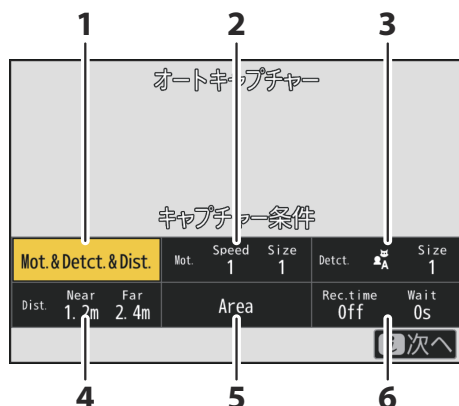
静止画撮影メニューと動画撮影メニューに [オートキャプチャー] が追加

静止画撮影メニューと動画撮影メニューに [オートキャプチャー] が追加されました。被写体の動く方向、被写体を検出するかどうか、被写体を認識する遠近の範囲を設定し、設定した条件でカメラが被写体を認識すると自動で連続撮影または動画記録を行います。撮影者が不在でも自動で撮影する、無人撮影を補助する機能です。

項目	内容
[開始]	オートキャプチャー設定画面が表示され、オートキャプチャー撮影を行う条件を設定できます。設定確認画面で想定したとおりに被写体が認識できているかどうかを確認後、動画撮影ボタンを押すとオートキャプチャー撮影を開始します。
[ユーザープリセットの選択]	<ul style="list-style-type: none">• オートキャプチャー撮影の設定を、[ユーザープリセット 1] ~ [ユーザープリセット 5] まで登録できます。プリセットを選んで Ⓢ を押すと、設定の確認、プリセット名の編集、プリセットのコピーを行えます。<ul style="list-style-type: none">- [設定確認]: ユーザープリセットの内容を一覧で確認できます。- [名前編集]: プリセット名を編集できます。19文字まで入力できます。- [コピー]: コピー先を選んで Ⓢ ボタンを押すと、現在のプリセットの内容をコピーできます。• すでにオートキャプチャー撮影の設定が登録されているプリセットがある場合、プリセットを選んでから [開始] を実行すると、すぐにオートキャプチャー撮影を始めることができます。

オートキャプチャー設定画面について

静止画撮影メニューまたは動画撮影メニュー「オートキャプチャー」で「開始」を選ぶと表示されます。項目を選んで ⊗ ボタンを押すと、それぞれの項目の詳細設定画面が表示されます。



- | | |
|----------------|--------------|
| 1 [キャプチャー条件] | 4 [詳細条件：距離] |
| 2 [詳細条件：モーション] | 5 [有効エリアの設定] |
| 3 [詳細条件：被写体検出] | 6 [撮影時間設定] |

項目	内容
[キャプチャー条件]	<ul style="list-style-type: none"> • オートキャプチャー撮影を行う条件を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> - [モーション]：設定した方向に被写体が移動した場合に自動で撮影したい場合にオン <input checked="" type="checkbox"/> にします。 - [被写体検出]：設定した被写体を検出した場合に自動で撮影したい場合にオン <input checked="" type="checkbox"/> にします。 - [距離]：設定した距離の範囲に被写体が存在している間、自動で撮影したい場合にオン <input checked="" type="checkbox"/> にします。 • 条件を複数選択すると、全ての条件を満たした場合のみ撮影します。
[詳細条件：モーション]	[キャプチャー条件] で [モーション] をオン <input checked="" type="checkbox"/> にしている場合に有効になります。撮影の対象となる被写体の移動方向やサイズ、どのくらいの速さで移動したら撮影対象とするかを設定します (図 29)。
[詳細条件：被写体検出]	[キャプチャー条件] で [被写体検出] をオン <input checked="" type="checkbox"/> にしている場合に有効になります。撮影の対象となる被写体の種類と、被写体のサイズを設定します (図 32)。

項目	内容
[詳細条件：距離]	<p>[キャプチャー条件] で [距離] をオン <input checked="" type="checkbox"/> にしている場合に有効になります。撮影の対象となる被写体までの距離の範囲を設定します (図 34)。設定した範囲内に被写体が存在する間、撮影を行います。</p>
[有効エリアの設定]	<p>AF エリアモードが [オートエリア AF] の場合、被写体を判別するエリアの有効/無効を切り換えられます。有効に設定したエリアに撮影条件を満たす被写体が存在する場合、撮影を行います。画角内にある障害物など、被写体判別を行う必要がない部分を無効にしておくことでより正確に被写体を捉えられます。</p>
[撮影時間設定]	<p>[撮影時間の指定] と [撮影後の待機時間] を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [撮影時間の指定]: 撮影条件を満たす被写体をカメラが認識したときに、撮影する時間を選べます。撮影開始後に被写体が認識されなくなっても、設定した時間分の撮影を行います。 <ul style="list-style-type: none"> - カメラの設定によっては、設定した時間分の撮影ができない場合があります。 • [撮影後の待機時間]: 1 回の撮影後の最低待機時間を選べます。前回の撮影終了後、設定した時間内に被写体が認識されても、設定した時間が経過するまでは撮影を開始しません。

オートキャプチャー撮影の撮影方法

✓ オートキャプチャー撮影を開始する前に

- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、次のいずれかをお使いください。
 - 十分に充電したバッテリー
 - 別売の本体充電 AC アダプター EH-7P
 - 別売の AC アダプター EH-8P と USB ケーブル UC-E25（両端が Type-C）
 - 別売のパワーコネクタ EP-5B と AC アダプター EH-5d/EH-5c/EH-5b
- 静止画モードの場合、撮像範囲は [FX (36×24)] または [DX (24×16)] が使用できます。[1:1 (24×24)] または [16:9 (36×20)] に設定している場合、オートキャプチャー撮影は使用できません。

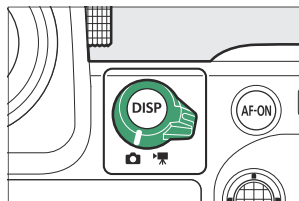
1 三脚などを使ってカメラを固定する

撮影する構図を決めてカメラを固定してください。

ヒント：オートキャプチャー撮影時の画角について

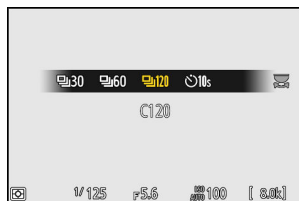
オートキャプチャー撮影に慣れるまでは、画角を広めに取ることをおすすめします。

2 静止画/動画セレクターで静止画モードまたは動画モードに切り換える



3 静止画モードで撮影する場合は、レリーズモードを [低速連続撮影]、[高速連続撮影]、[C30]、[C60] または [C120] に設定する

- 動画モードで撮影する場合は手順 4 に進んでください。
- 1 コマ撮影およびセルフタイマー撮影に設定している場合、オートキャプチャー撮影を開始すると一時的に高速連続撮影に切り替わります。
- レリーズモードを低速連続撮影または高速連続撮影に設定している場合は、連続撮影速度を設定してください。

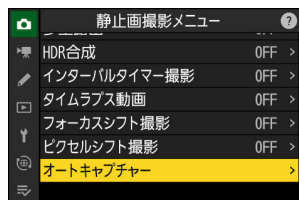


4 ピント位置を設定する

AF エリアモードを設定し、被写体が現れると想定される位置にフォーカスポイントを合わせます。

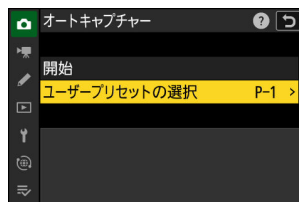
- オートフォーカスで撮影する場合、オートキャプチャー撮影時のフォーカスモードは一時的に **AF-C** になります。
- AF エリアモードを **【オートエリア AF】** に設定した場合、高速連続撮影時の連続撮影速度を 20 コマ/秒を選んでいても、15 コマ/秒に低下します。
- マニュアルフォーカスで撮影する場合、レンズのフォーカスモード切り換えスイッチを **[M]** に設定し、手動でピント位置を調節してください。フォーカスモード切り換えスイッチがないレンズを装着している場合、マニュアルフォーカス撮影はできません。

5 静止画撮影メニューまたは動画撮影メニュー **【オートキャプチャー】** を選んで **⏏** を押す



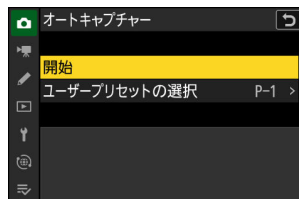
6 **【ユーザープリセットの選択】** で設定の登録先を選んで **⊗** ボタンを押す

【ユーザープリセット 1】 ~ **【ユーザープリセット 5】** からオートキャプチャー撮影設定の登録先を選びます。

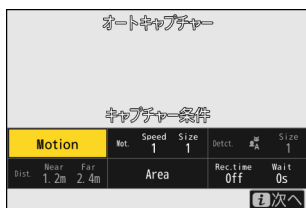




7 **【開始】** を選んで **⊗** ボタンを押す

オートキャプチャー設定画面が表示されます。



8 [キャプチャー条件] を選んで ボタンを押す

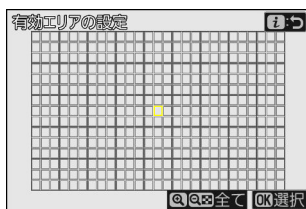







- オートキャプチャー撮影を行う条件を選びます。項目を選んで  ボタンを押すとオン とオフ を切り換えられます。
-  ボタンを押すと、設定を決定してオートキャプチャー設定画面に戻ります。

9 [キャプチャー条件] で選んだ条件によって詳細な設定を行う

- [モーション] をオン にしている場合は、「[キャプチャー条件] で [モーション] をオンにしている場合」([図 29](#)) をご覧ください。
- [被写体検出] をオン にしている場合は、「[キャプチャー条件] で [被写体検出] をオンにしている場合」([図 32](#)) をご覧ください。
- [距離] をオン にしている場合は、「[キャプチャー条件] で [距離] をオンにしている場合」([図 34](#)) をご覧ください。
- [キャプチャー条件] は複数の項目をオン にできますが、オートキャプチャー撮影に慣れるまでは1つにしておくことをおすすめします。

10 [有効エリアの設定] を選んで ボタンを押す



- AF エリアモードが **[オートエリア AF]** の場合に、被写体を判別するエリアの有効/無効を切り換えられます。他の AF エリアモードを選んでいる場合は設定できません。手順 11 に進んでください。
- 画角内にある障害物など、被写体判別を行う必要がない部分を無効にしておくことでより正確に被写体を捉えられます。
-  ボタンを押すとポイントが赤色（無効）になり、被写体を判別する範囲の対象外になります。もう一度  ボタンを押すと透明（有効）に戻ります。
-  ボタンを押すと全てのポイントを有効にします。
-  (?) ボタンを押すと全てのポイントを無効にします。
- 画像モニターをタッチすると、3×3 のグリッドごとに有効/無効を切り換えられます。
-  ボタンを押すと設定を決定してオートキャプチャー設定画面に戻ります。

無効に設定したエリアについて

[キャプチャー条件] は有効にしたエリアの周辺でのみ判別されます。たとえば [モーション] をオン にしている場合、無効に設定したエリアで動きがあってもカメラは被写体を判別しません。

11 [撮影時間設定] を選んで **OK** ボタンを押す



- [撮影時間の指定] で1回の撮影時間を1秒～30分および [OFF] (制限なし) から選べます。[OFF] 以外に設定すると、撮影開始後に被写体が認識されなくなっても、設定した時間分の撮影を行います。
- [撮影後の待機時間] で1回の撮影後の最低待機時間を0秒～30分から選べます。
- **OK** ボタンを押すと設定を決定してオートキャプチャー設定確認画面に戻ります。

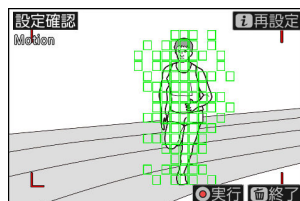
12 **i** ボタンを押す

- 設定確認画面が表示されます。
- 設定確認画面の左上に、[キャプチャー条件] でオン にした項目名が表示されます。



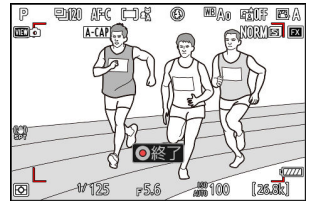
13 想定したとおりに被写体を認識しているかどうかを確認する

- 設定した条件を満たす被写体をカメラが認識すると、被写体に合わせて設定確認画面に緑色の枠が表示されます。
- AF エリアモードの設定が [オートエリア AF] 以外の場合、フォーカスポイントを移動できます。
- AF エリアモードの設定が [ワイドエリア AF (C1)] または [ワイドエリア AF (C2)] の場合、フォーカスモードボタンを押しながらマルチセレクターの **OK** を押すと AF エリアのサイズを変更できます。
- 設定確認画面でフォーカスモードボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、AF エリアモードを変更できます。
- 想定したとおりに緑色の枠が表示されない場合は、**i** ボタンを押して手順 9～10 に戻って設定をやり直してください。



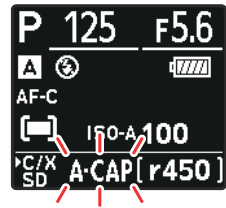
14 オートキャプチャー撮影を開始する

- 設定確認画面で動画撮影ボタンを押すと、オートキャプチャー撮影が開始します。
- 設定した条件を満たす被写体をカメラが認識している間、自動で撮影を行います。
- [キャプチャー条件] で複数の項目を選択している場合、すべての条件を満たした被写体を認識した場合のみ撮影を行います。
- カメラの操作をしないまま約3分間経過すると、省電力のため撮影画面が消灯しますがオートキャプチャー撮影は継続しています。**DISP** ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると撮影画面が点灯します。

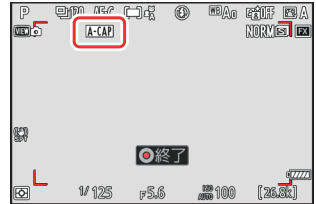


✓ オートキャプチャー撮影の待機状態について

- 表示パネルに **A-CAP** が点滅します。



- 撮影画面に **A-CAP** アイコンが点滅します。



ヒント：プリキャプチャー機能を使用する

レリーズモードで **[C30]**、**[C60]** または **[C120]** を選んでいる場合、カスタムメニュー d3 **[プリキャプチャー記録設定]** の設定を使用できます。

ヒント：サイレントモードで撮影する

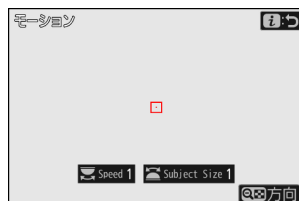
セットアップメニュー **[サイレントモード]** を **[ON]** に設定すると、サイレントモードで撮影できます。

【キャプチャー条件】で【モーション】をオンにしている場合



撮影の対象となる被写体の移動方向やサイズ、どのくらいの速さで移動したら撮影対象とするかを設定できます。

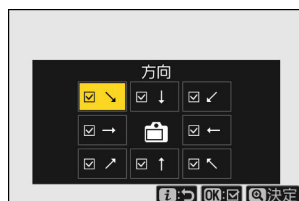
1 オートキャプチャー設定画面で【詳細条件：モーション】を選んで ボタンを押す

モーション設定画面が表示されます。



2 (?) ボタンを押して被写体の移動方向を設定する

- 方向設定画面が表示されます。
- 被写体が動く方向を選び、 ボタンを押してオン とオフ を切り換えます。
-  ボタンを押すと、設定を決定してモーション設定画面に戻ります。



3 メインコマンドダイヤルを回して被写体のスピードを設定する

メインコマンドダイヤルを回して **[Speed]** を **[1]** ～ **[5]** の間で設定します。値が大きいほど速い動きの被写体のみ撮影し、値が小さいほど動きの遅い被写体でも撮影します。

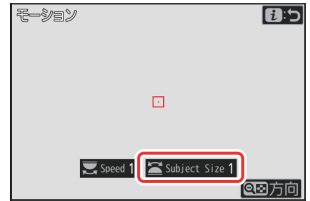


ヒント：サイズとスピードの設定値について

- モーション設定画面では、**[Subject Size]** および **[Speed]** の設定に合わせて、撮影対象と認識した被写体に緑色の枠が表示されます。
 - **[Speed]** は被写体が画角内の左端から右端までを横断する速さに応じて値を設定してください。目安となる秒数は次のとおりです。被写体の動きが速すぎると認識しない場合があります。
 - **[1]**：約 5 秒以下
 - **[2]**：約 4 秒以下
 - **[3]**：約 3 秒以下
 - **[4]**：約 2 秒以下
 - **[5]**：約 1 秒以下
 - **[Subject Size]** および **[Speed]** をそれぞれ **[1]** に設定すると、さまざまな大きさや動く速度の被写体を撮影対象と認識しやすくなります。最初は小さい値に設定し、モーション設定画面に表示される緑色の枠の確認や試し撮りを繰り返し行って、適切に被写体が認識されるように徐々に数値を大きく調整していくことをおすすめします。
-

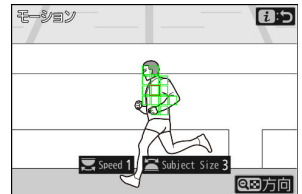
4 サブコマンドダイヤルを回して被写体のサイズを設定する

サブコマンドダイヤルを回して [Subject Size] を [1] ~ [5] の間で設定します。値が大きいほどサイズの大きな被写体のみ撮影し、値が小さいほどサイズの小さな被写体でも撮影します。



ヒント：サイズの設定値について

- モーション設定画面では、[Subject Size] および [Speed] の設定に合わせて、撮影対象と認識した被写体に緑色の枠が表示されます。
- [Subject Size] の各設定値のサイズ（指標となるポイントの数）は次のとおりです。
 - [1]：4 個分以上
 - [2]：8 個分以上
 - [3]：14 個分以上
 - [4]：24 個分以上
 - [5]：34 個分以上



被写体に対して 14 のポイントが反応している例

5 i ボタンを押す

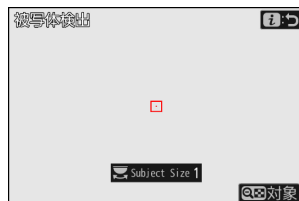
設定を決定してオートキャプチャー設定画面に戻ります。

【キャプチャー条件】で【被写体検出】をオンにしている場合

撮影の対象となる被写体の種類とサイズを設定できます。

1 オートキャプチャー設定画面で【詳細条件：被写体検出】を選んで ⊗ ボタンを押す

被写体検出設定画面が表示されます。



2 ⊗ (?) ボタンを押して被写体検出対象を設定する

- オート、人物、動物、乗り物、飛行機から選びます。
- ⊗ ボタンを押すと、設定を決定して被写体検出設定画面に戻ります。



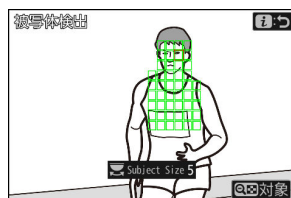
3 メインコマンドダイヤルを回して被写体のサイズを設定する

[Subject Size] を [1] ~ [5] の間で設定します。値が大きいくほどサイズの大きな被写体のみ撮影し、値が小さいほどサイズの小さな被写体でも撮影します。



ヒント：サイズの設定値について

- 被写体検出設定画面では、[Subject Size] の設定に合わせて、撮影対象と認識した被写体に緑色の枠が表示されます。
- 各設定値のサイズ（画角に対する割合）は次のとおりです。
 - [1] : 2.5%以上
 - [2] : 5%以上
 - [3] : 10%以上
 - [4] : 15%以上
 - [5] : 20%以上



被写体が 20%のサイズを検出している例

- [Subject Size] を [1] に設定すると、さまざまな大きさの被写体を撮影対象と認識しやすくなります。最初は小さい値に設定し、被写体検出設定画面に表示される緑色の枠の確認や試し撮りを繰り返し行って、適切に被写体が認識されるように徐々に数値を大きく調整していくことをおすすめします。

4 i ボタンを押す

設定を決定してオートキャプチャー設定画面に戻ります。

✓ 被写体検出についてのご注意

オートまたは人物を検出対象に選んでいる場合、被写体がカメラの方を向いていなくても、カメラが人物を認識した場合は自動でオートキャプチャー撮影を行います。

【キャプチャー条件】で【距離】をオンにしている場合

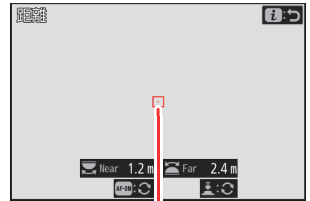
カメラが被写体を認識する最も近い距離と最も遠い距離を設定します。設定した範囲内に被写体が存在する間、オートキャプチャー撮影を行います。

✓ 【詳細条件：距離】について

【詳細条件：距離】は、NIKKOR Zレンズを装着時に使用できる機能です。NIKKOR Zレンズ以外のレンズを装着している場合、動作しない場合があります。

1 オートキャプチャー設定画面で【詳細条件：距離】を選んで☒ボタンを押す

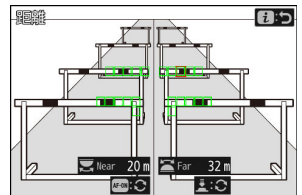
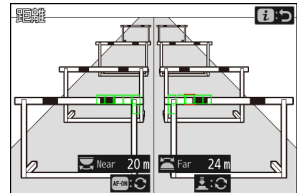
- 距離設定画面が表示されます。
- 距離設定画面にフォーカス指標ポイントが表示されます。



フォーカス指標ポイント

2 カメラが被写体を認識する最も手前と最も奥の距離を設定する

- カメラが被写体を認識する範囲の最も近い位置にある被写体にフォーカス指標ポイントを合わせて **AF-ON** ボタンを押すと、距離が設定されて **[Near]** に値が表示されます。メインコマンドダイヤルを回すと値を微調整できます。
- カメラが被写体を認識する範囲の最も遠い位置にある被写体にフォーカス指標ポイントを合わせてシャッターボタンを半押しすると、距離が設定されて **[Far]** に値が表示されます。サブコマンドダイヤルを回すと値を微調整できます。



ヒント : [Near] および [Far] の値の微調整について

NIKKOR Z 58mm f/0.95 S Noct 以外のニコン製 Z マウントレンズを装着している場合のみ微調整できます。


ヒント : [Near] および [Far] の表示について

[Near] および [Far] の調整値の単位はメートルのみです。セットアップメニュー [距離表示単位の設定] で [フィート (ft)] を選んでもフィート表示されません。

3 i ボタンを押す

設定を決定してオートキャプチャー設定画面に戻ります。


オートキャプチャー撮影を一時停止/終了するには

- 動画撮影ボタンを押すとオートキャプチャー撮影を一時停止して設定確認画面に戻ります。再度動画撮影ボタンを押すとオートキャプチャー撮影を再開します。
-  ボタンを押すとオートキャプチャー撮影を終了して撮影画面に戻ります。

✓ オートキャプチャー撮影についてのご注意

- 撮影待機中のピント位置は次のとおりです。
 - [キャプチャー条件] で [距離] をオン にしている場合 : [Far] に設定した位置
 - [キャプチャー条件] で [距離] をオフ にしている場合 : オートキャプチャー撮影開始時の位置
- 画角内に複数の被写体が存在する場合、[有効エリアの設定] で設定した有効範囲内の被写体を認識しないことがあります。
- 降雪および降雨時は、被写体を認識する機能が低下する場合があります。降雪や陽炎などの気象現象により自動撮影されることがあります。
- 撮影時の気温が高い場合や撮影を長時間行った場合、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、撮影を自動的に終了することがあります。

✓ オートキャプチャー撮影中の操作について

オートキャプチャー撮影中は **DISP** ボタン、動画撮影ボタンおよび  ボタン以外の操作が無効になります。設定を変更したい場合は、一度オートキャプチャー撮影を終了してください。





✔ オートキャプチャー撮影の制限について

次の場合など、オートキャプチャー撮影とは同時に使用できない機能や設定があります。

- 長時間露出（バルブまたはタイム）撮影
 - セルフタイマー撮影
 - オートブラケティング撮影
 - 多重露出撮影
 - HDR 合成
 - インターバルタイマー撮影
 - タイムラプス動画撮影
 - フォーカスシフト撮影
 - ピクセルシフト撮影
 - 電子手ブレ補正
-

「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影のプリキャプチャー時間の変更

「ハイスピードフレームキャプチャー +」撮影時にプリキャプチャー機能を使用する場合に、プリキャプチャー機能がキャンセルされるまでの時間が30秒から300秒に延長されました。

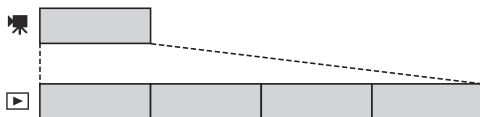
- カスタムメニュー d3 [プリキャプチャー記録設定] > [プリ記録時間] を [なし] 以外に設定してシャッターボタンを半押しすると、撮影画面の  アイコンに緑色の ● が表示されます。シャッターボタンを押してから約300秒経過しても全押ししなかった場合、● が  に変更されてプリキャプチャー機能がキャンセルされます。 が表示された後に全押ししても、さかのぼっての記録はされません。
- カメラの設定によっては、300秒よりも前にプリキャプチャー機能がキャンセルされることがあります。
- プリキャプチャー機能がキャンセルされる約30秒前から  アイコンが点滅します。



スローモーション動画機能の追加

動画撮影メニュー [動画記録ファイル形式] で [H.264 8-bit (MP4)] を選んでいる場合、動画撮影メニュー [画像サイズ/フレームレート] で [1920×1080 30p 4 倍スロー]、[1920×1080 25p 4 倍スロー]、[1920×1080 24p 5 倍スロー] を選べるようになりました。スローモーション動画を撮影できます。

- 例えば [1920×1080 30p 4 倍スロー] の場合、120p のフレームレートで読み出した画像を 30p の動画として記録します。約 10 秒間撮影した動画は、約 40 秒かけて再生されます。スポーツでのボールのインパクトの瞬間など、一瞬の出来事をゆっくりと見ることができます。



- 音声は記録されません。
- [撮像範囲設定] を [DX] に設定するか DX レンズを装着すると、FX フォーマットの焦点距離の約 2.3 倍に相当する画角になります。
- カスタムメニュー g11 [シャッタースピード延長 (M モード)] は無効になります。
- 画像を読み出すときのフレームレートと、動画を記録および再生するときのフレームレートは次の通りです。

画像サイズ/フレームレート	画像を読み出すときのフレームレート※	動画を記録・再生するときのフレームレート※
[1920×1080 30p 4 倍スロー]	120p	30p
[1920×1080 25p 4 倍スロー]	100p	25p
[1920×1080 24p 5 倍スロー]	120p	24p

※ 120p : 119.88 コマ/秒 (fps)、100p : 100 コマ/秒、30p : 29.97 コマ/秒、25p : 25 コマ/秒、24p : 23.976 コマ/秒

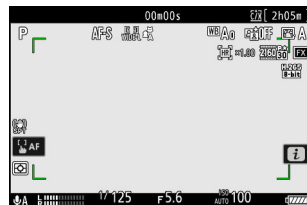
- 平均ビットレートは 30Mbps です。
- 最長記録時間は約 3 分です。

✓ スローモーション動画撮影時のご注意

- 次の機能など、スローモーション動画撮影中は使用できなくなる機能があります。
 - フリッカー低減
 - 電子手ブレ補正
 - タイムコード出力
 - 外部レコーダーに HDMI 出力して録画する場合、スローモーションにならず等倍速の動画として記録されます。
-

ハイレゾズーム合焦表示の色が変更

動画撮影メニュー [ハイレゾズーム] を [ON] に設定している場合、ピントが合ったときに撮影画面に表示される AF エリアフレームの色が変更されました。ファームウェアバージョン C:1.xx 以前は AF エリアフレームが赤色で表示されましたが、C:2.00 からは緑色で表示されます。



N-Log 動画撮影時の ISO 感度に低感度が追加


動画の階調モードを [N-Log] に設定している場合に、動画撮影メニュー [ISO 感度設定] > [M モード時の ISO 感度] で設定できる ISO 感度に低感度 (Lo 0.3~Lo 2.0) が追加されました。ISO 800 から約 0.3 段 (ISO 640 相当) ~約 2 段 (ISO 200 相当) の範囲での減感ができます。

✓ ISO 感度を低感度にした場合のご注意

低感度で撮影した動画は、ハイライトの情報が減少するため最大出力レベルが低下します。ゼブラ表示をする場合、カスタムメニュー g13 [ゼブラ表示] > [高輝度検出の範囲] の設定を低めに設定してください。Lo 1.0 までの場合は [230]、Lo 2.0 の場合は [200] 程度に設定することをおすすめします。

カスタムメニュー g8 [ハイレゾズーム速度] で設定できるハイレゾズーム速度の変更

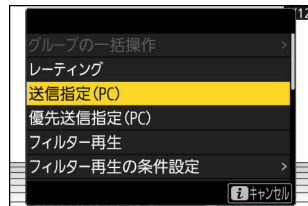
カスタムメニュー g8 [ハイレゾズーム速度] で設定できるハイレゾズームの速度が、-5~+5 の 11 段階で設定できるようになりました。

- マルチセクターの  を押して調整できます。
- + にすると速く、- にすると遅くなります。



再生時の *i* メニュー項目 [送信指定 (PC)]、 [送信指定 (FTP)] の機能変更

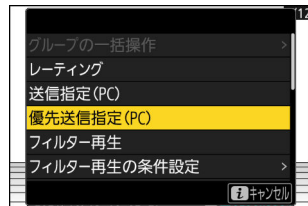
再生時の *i* メニュー [送信指定 (PC)] および [送信指定 (FTP)] の機能が変更されました。



- カメラをパソコンまたは FTP サーバーと接続している場合にのみ表示されます。
- ファームウェアバージョンが C:1.xx 以前では、[送信指定 (PC)] または [送信指定 (FTP)] を選ぶと優先送信設定マーク (📧) が付加されてすぐに送信が始まりましたが、C:2.00 からは送信設定マーク (📧) が付加されます。すでに送信予定の画像がある場合、送信予定の最後に追加されます。

再生時の *i* メニュー項目に [優先送信指定 (PC)] と [優先送信指定 (FTP)] が追加

再生時の *i* メニューに [優先送信指定 (PC)] と [優先送信指定 (FTP)] が追加されました。



- カメラをパソコンまたは FTP サーバーと接続している場合にのみ表示されます。
- 送信したい画像を選んで *i* ボタンを押し、[優先送信指定 (PC)] または [優先送信指定 (FTP)] を選んで ⊗ ボタンを押すと、優先送信設定マーク (📧) が付加されてすぐに送信が始まります。すでに送信予定の画像がある場合でも、優先送信指定された画像を割り込んで送信します。

動画再生時の *i* メニュー項目に [再生の速度] が追加

動画再生の *i* メニュー項目に [再生の速度] が追加されました。動画の再生速度を [等倍再生]、[1/2 再生]、[1/4 再生] から選べます。[1/2 再生] または [1/4 再生] を選ぶと、1/2 倍または 1/4 倍の速度でスロー再生されます。また、動画一時停止時の *i* メニューにも [再生の速度] が追加され、動画再生の途中からでも再生速度を変更できます。

ヒント：メインコマンドダイヤル/サブコマンドダイヤルで再生速度を変更する

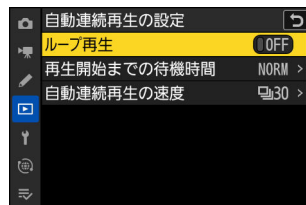
カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] にも [再生の速度] が追加されています。メインコマンドダイヤルおよびサブコマンドダイヤルに割り当てると動画再生時にコマンドダイヤルを回して再生速度を変更できます ([📖 59](#))。

ヒント：再生速度の変更について

- *i* メニューで再生速度を変更した場合、変更した再生速度は全ての動画再生時に適用されます。
 - カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] のコマンドダイヤルに [再生の速度] を割り当てて再生速度を変更した場合、変更した再生速度は現在再生している動画にのみ適用されます。
-

再生メニュー [グループ再生の設定] に [自動連続再生の設定] が追加

再生メニュー [グループ再生の設定] に [自動連続再生の設定] が追加されました。[自動連続再生] を [ON] に設定しているときの、連続撮影グループの再生方法を設定できます。



項目	内容
[ループ再生]	[ON] に設定すると、表示している連続撮影グループを繰り返し再生します。
[再生開始までの待機時間]	連続撮影グループ先頭の画像を表示してから、自動連続再生を開始するまでの時間を [通常]、[長い]、[短い]、[すぐに再生] から選べます。
[自動連続再生の速度]	自動連続再生の再生速度を設定できます。 <ul style="list-style-type: none">• [5 コマ/秒]、[15 コマ/秒]、[30 コマ/秒] : 設定した速度で再生します。• [現在のレリーズモードに連動する] : 現在設定しているレリーズモードの速度で再生します。<ul style="list-style-type: none">- 1コマ撮影またはセルフタイマーに設定している場合は、3コマ/秒で再生します。

再生メニューに【縦横位置情報の記録】が追加

再生メニューに【縦横位置情報の記録】が追加されました。

- **[ON]** に設定すると、撮影時のカメラの縦横位置情報が画像に記録されます。カメラやパソコンで再生するときに、記録した縦横位置情報を利用して画像が自動的に回転表示されます。



- **[OFF]** に設定すると、画像に縦横位置情報は記録されません。そのため、再生時に画像は自動回転されず、常に横位置で表示されます。



✓ 縦横位置情報記録についてのご注意

カメラを上向きまたは下向きにして撮影したり流し撮りすると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります。

✓ 再生メニュー【画像の自動回転】について

- **【画像の自動回転】** を **[OFF]** に設定している場合、**【縦横位置情報の記録】** の **[ON]** / **[OFF]** にかかわらず画像をカメラで再生するときは、常に横位置で表示されます。
- **【画像の自動回転】** を **[ON]** に設定していても、**【縦横位置情報の記録】** が **[OFF]** の場合、再生時に画像は自動回転されずに、常に横位置で表示されます。

パワースームレンズの操作に対応

パワースームレンズの操作に対応しました。パワースームレンズを装着した場合に、レンズのズームリングを回す以外にも、カメラのボタン操作で電動ズーム（パワースーム）が可能です。

カスタムメニュー f12 として [パワースームのボタン操作 (PZ レンズ)] が追加

パワースームレンズを装着して静止画を撮影する場合に、Q ボタンおよび Q³ (?) ボタンを押してパワースームするかどうかを設定できます。

項目	内容
[Q/Q ³ ボタンの使用]	[ON] に設定すると、Q ボタンおよび Q ³ (?) ボタンを押してズームを行います。
[パワースーム速度]	ボタン操作でパワースームするときの、ズームの速度を設定できます。

カスタムメニュー g9 として [パワースームのボタン操作 (PZ レンズ)] が追加

パワースームレンズを装着して動画を撮影する場合に、Q ボタンおよび Q³ (?) ボタンを押してパワースームするかどうかを設定できます。

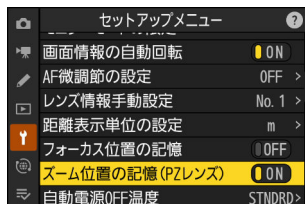
項目	内容
[Q/Q ³ ボタンの使用]	[ON] に設定すると、Q ボタンおよび Q ³ (?) ボタンを押してズームを行います。
[パワースーム速度]	ボタン操作でパワースームするときの、動画記録待機中および動画記録中のズームの速度をそれぞれ設定できます。 • 動画記録中にズームを行うと、レンズの動作音が記録されることがあります。音が気になる場合は、ズームの速度を低速に設定することをおすすめします。

ヒント：カスタムボタンにパワーズームを割り当てる

カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] と g2 [カスタムボタンの機能] にもパワーズームの機能が追加されています。Fn1 および Fn2 ボタンにパワーズームの機能を割り当てられます (54)。

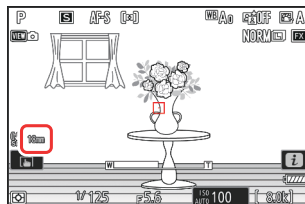
セットアップメニュー [ズーム位置の記憶 (PZ レンズ)] が追加

[ON] に設定すると、パワーズームレンズを装着してカメラの電源を OFF にして再度 ON にした場合も、ズーム位置を電源 OFF の前と同じ位置に保持できます。ただし、カメラの電源を ON にしてから操作ができるようになるまで時間がかかることがあります。



焦点距離の表示

パワーズームレンズを装着した場合、撮影画面に焦点距離が表示されます。



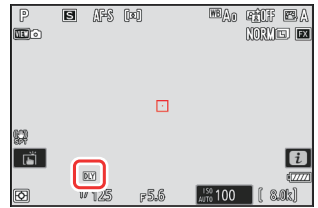
カスタムメニュー a11 [フォーカスポイント表示] に [フォーカスポイントの太さ] が追加

カスタムメニュー a11 [フォーカスポイント表示] に [フォーカスポイントの太さ] が追加されました。フォーカスポイントの枠線の太さを [1] ~ [3] の3段階から選べます。

カスタムメニュー d5 に [露出ディレイモード] が追加

カスタムメニュー d5 として [露出ディレイモード] が追加されました。カメラブレを最小限に抑えたい場合に、シャッターボタンを押してから約 0.2~3 秒後にシャッターがきれるように変更できます。

- [しない] 以外に設定すると、撮影画面に **DLY** アイコンが表示されます。



カスタムメニュー d18 と g17 に [半押し拡大解除 (MF)] が追加

カスタムメニューの d18 と g17 に [半押し拡大解除 (MF)] が追加されました。[ON] に設定すると、フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定して拡大表示している場合に、シャッターボタンを半押しして拡大表示を解除できます。

撮影機能の呼び出し中に露出補正とホワイトバランスの設定の変更が可能

カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] で [撮影機能の呼び出し (ホールド)] を割り当てたボタンを 1 回押して撮影機能の設定を呼び出している間に、露出補正とホワイトバランスの設定を変更できるようになりました。





- 露出補正を行うには、**EV** ボタンまたは露出補正を割り当てたカスタムボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。[撮影機能の呼び出し (ホールド)] の設定登録画面で [露出補正] をオン にしている場合、再度呼び出しを行った場合も変更した値が保持されています。
- ホワイトバランスの設定を変更するには、**WB** ボタンまたはホワイトバランスを割り当てたカスタムボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。[撮影機能の呼び出し (ホールド)] の設定登録画面で [ホワイトバランス] をオン にしている場合、再度呼び出しを行った場合も変更した値が保持されています。

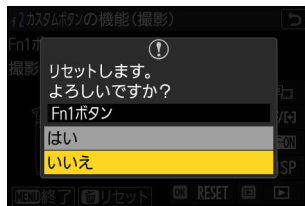
カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] と g2 [カスタムボタンの機能] に機能追加

カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] および g2 [カスタムボタンの機能] に、機能を割り当てられるボタンの種類と割り当てられる機能が追加されました。また、ボタンの割り当てをリセットできるようになりました。





設定をリセットする機能の追加

カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] または g2 [カスタムボタンの機能] の機能を割り当てるボタンを選ぶ画面で設定をリセットできます。

- リセットしたいボタンを選んで  を押し、確認画面で [はい] を選んで  ボタンを押すと、選んだボタンの設定をリセットして初期設定に戻します。
- 任意のボタンを選んで約 3 秒間  を長押しし、確認画面で [はい] を選んで  ボタンを押すと、全てのボタンの設定をリセットして初期設定に戻します。



機能を割り当てられるボタンの追加

- 機能を割り当てられるボタンとして、次の項目が追加されました。
 -  [再生ボタン]
 -  [BKT ボタン]
 -  [WB ボタン]
- f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] には、機能を割り当てられるボタンとして  [フォーカスモードボタン] も追加されました。

f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] に追加された機能

	項目	内容
	[瞳の切り換え]	カメラが人物や動物の瞳を検出している場合にボタンを押すと、フォーカスポイントを合わせる瞳の左右を切り換えます。
	[AF エリアモード循環選択]	<p>ボタンを押すたびに AF エリアモードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [AF エリアモード循環選択] を選んで  を押すと、切り換え可能な AF エリアモードを選べます。 • 項目を選んで  ボタンを押すかマルチセレクターの  を押すと、オン <input checked="" type="checkbox"/> とオフ <input type="checkbox"/> を切り換えられます。チェックボックスをオン <input checked="" type="checkbox"/> にした項目のみ、ボタンを押したときに切り換えられます。
	[ピクセルシフト撮影]	ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとピクセルシフト撮影モード、サブコマンドダイヤルを回すと撮影コマ数の設定を変更できます。
PZ[T]	[パワーズーム (望遠側)]	パワーズームレンズを装着している場合、ボタンを押している間は望遠側にズーミングします。[Fn2 ボタン] が [パワーズーム (広角側)] のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
PZ[W]	[パワーズーム (広角側)]	パワーズームレンズを装着している場合、ボタンを押している間は広角側にズーミングします。[Fn1 ボタン] が [パワーズーム (望遠側)] のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
DLY	[露出ディレイモード]	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、露出ディレイモードの設定を変更できます。

g2 [カスタムボタンの機能] に追加された機能





	項目	内容
[AF]	[瞳の切り換え]	カメラが人物や動物の瞳を検出している場合にボタンを押すと、フォーカスポイントを合わせる瞳の左右を切り換えます。
[Fn]	[AF エリアモード循環選択]	ボタンを押すたびに AF エリアモードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none">• [AF エリアモード循環選択] を選んで [Fn] を押すと、切り換え可能な AF エリアモードを選べます。• 項目を選んで [Fn] ボタンを押すかマルチセレクターの [Fn] を押すと、オン [Fn] とオフを切り換えられます。チェックボックスをオン [Fn] にした項目のみ、ボタンを押したときに切り換えられます。
PZ [Fn]	[パワーズーム (望遠側)]	パワーズームレンズを装着している場合、ボタンを押している間は望遠側にズーミングします。[Fn2 ボタン] が [パワーズーム (広角側)] のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
PZ [Fn]	[パワーズーム (広角側)]	パワーズームレンズを装着している場合、ボタンを押している間は広角側にズーミングします。[Fn1 ボタン] が [パワーズーム (望遠側)] のときは、自動的にこの項目が選ばれます。

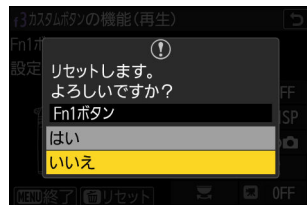
カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] に機能追加

カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] に機能を割り当てられるボタンの種類と割り当てられる機能が追加されました。ボタンの割り当てをリセットすることも可能です。

設定をリセットする機能の追加



カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] の機能を割り当てるボタンを選ぶ画面で設定をリセットできます。

- リセットしたいボタンを選んで  を押し、確認画面で [はい] を選んで  ボタンを押すと、選んだボタンの設定をリセットして初期設定に戻します。
- 任意のボタンを選んで約 3 秒間  を長押しし、確認画面で [はい] を選んで  ボタンを押すと、全てのボタンの設定をリセットして初期設定に戻します。



機能を割り当てられるボタンの追加


機能を割り当てられるボタンとして、次の項目が追加されました。

-  [再生ボタン]
-  [ISO 感度ボタン]
-  [露出補正ボタン]
-  [BKT ボタン]
-  [WB ボタン]
-  [レンズの Fn ボタン]
-  [レンズの Fn2 ボタン]

追加された機能

ボタンに割り当てられる機能やコマンドダイヤルに設定できる機能が追加されました。

ボタンに割り当てられる機能

項目	内容
 [削除]	ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度ボタンを押すと、表示中の画像を削除して、再生画面に戻ります。

[メインコマンドダイヤル] / [サブコマンドダイヤル] に設定できる機能

項目	内容
[画像送り時の拡大位置]	<p>再生画像の拡大表示中にメインコマンドダイヤルおよびサブコマンドダイヤルを回して画像送りをする場合に、表示範囲の位置を変更するかどうか設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• [位置を継続]: 現在表示している表示範囲の位置で次の静止画を表示します。• [ピント位置優先]: 再生する静止画の撮影時のフォーカスポイントを中心にして拡大表示します。• [ピント位置優先 (顔検出)]: 再生する静止画の撮影時のフォーカスポイントを中心にして拡大表示します。ただし、再生する静止画に人物の顔が検出された場合、顔を中心にして拡大表示します。
[拡大再生中の顔送り]	<p>[ON] に設定すると、再生画像の拡大表示中に複数の人物の顔が検出された場合、サブコマンドダイヤルを回して画像内の人物の顔を切り換えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none">• [サブコマンドダイヤル] のみ設定できます。

【メインコマンドダイヤル】 / 【サブコマンドダイヤル】 > 【画像送り】に追加された機能

項目	内容
【FTP 送信済み】	FTP に送信した画像だけをコマ送りして表示します。
【PC 送信済み】	PC に送信した画像だけをコマ送りして表示します。


【メインコマンドダイヤル】 / 【サブコマンドダイヤル】 > 【動画再生】に追加された機能

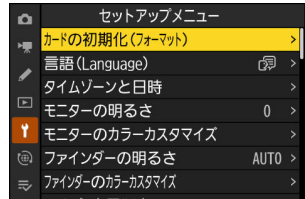
項目	内容
【再生の速度】	動画の再生速度を切り換えます。速度は等倍、1/2 倍スロー、1/4 倍スローに切り換えます。


セットアップメニュー [カードの初期化 (フォーマット)]での物理フォーマット方法の変更

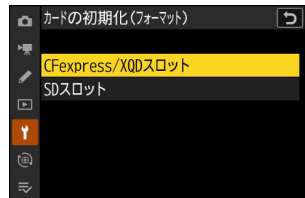
物理フォーマットに対応した CFexpress カードをお使いの場合に、セットアップメニュー [カードの初期化 (フォーマット)] での物理フォーマット方法が変更になりました。

物理フォーマットの方法

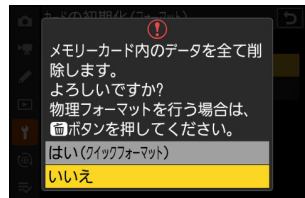
- 1 セットアップメニュー [カードの初期化 (フォーマット)] を選んでマルチセレクターの  を押す



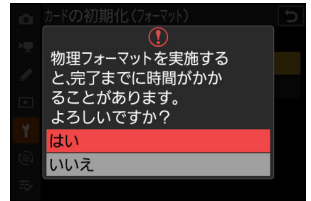
- 2 [CFexpress/XQD スロット]を選んでマルチセレクターの  を押す



- 3 選択肢が表示されたら  (確認) ボタンを押す

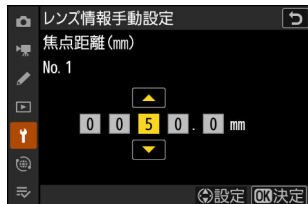


4 【はい】を選んで **OK** ボタンを押す



セットアップメニュー [レンズ情報手動設定] の機能変更

- セットアップメニュー [レンズ情報手動設定] の [焦点距離 (mm)] および [開放絞り値] で、任意の値を入力できるようになりました。



- [レンズ No.] の [1] ~ [20] に登録したレンズの名称を登録できるようになりました。[レンズ名] を選んで [OK] を押すと、最大 36 文字まで入力できます。
 - 登録したレンズ名は、撮影した画像の Exif 情報に記録されません。



セットアップメニュー [IPTC] で編集できる「Category」の登録文字数の変更

セットアップメニュー [IPTC] で IPTC プリセットを作成または編集する場合に、「Category」で登録できる最大文字数が 3 文字から 256 文字に変更されました。

セットアップメニュー [電子音] のメニュー項目の変更

セットアップメニュー [電子音] のメニュー構成が変更されました。電子シャッターの音量を他の電子音と分けて設定することができます。また、電子シャッター音の種類を選べるようになりました。

項目	内容
[電子シャッター音]	[ON] に設定すると、シャッターを切ったときに電子シャッター音が鳴ります。
[音量]	電子シャッター音の音量を 5 段階で設定できます。
[音の選択]	電子シャッター音の種類を 5 種類の中から選べます。
[ビープ音]	<ul style="list-style-type: none">• ファームウェアバージョン C:1.xx 以前の [電子音設定] の機能です。[有効] または [タッチ音無効] に設定すると、次の場合に電子音（ビープ音）が鳴ります。<ul style="list-style-type: none">- セルフタイマー作動中- インターバルタイマー撮影、タイムラプス動画撮影、およびフォーカスシフト撮影、ピクセルシフト撮影終了時- 静止画モードでオートフォーカスのピントが合ったとき（ただし、フォーカスモードが AF-C のとき、およびカスタムメニュー a2 [AF-S モード時の優先] が [レリーズ] の場合は、電子音は鳴りません）- タッチパネル操作時（ただし、[タッチ音無効] に設定している場合は電子音は鳴りません）• [無効] に設定している場合は電子音は鳴りません。
[音量]	ビープ音の音量を 3 段階で設定できます。
[音の高さ]	ビープ音の音の高さを [高音] と [低音] から選べます。

撮影画面の表示が最大 400%まで拡大可能

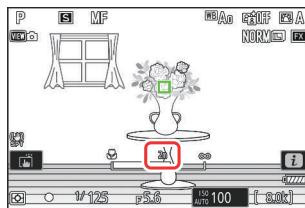
ファームウェアバージョンが C:1.xx 以前では撮影画面の拡大表示は最大 200%まででしたが、C:2.00 からは最大 400%まで拡大できるようになりました。🔍 ボタンを押すごとに拡大率が上がり、🔍 (?) ボタンを押すごとに拡大率が下がります。

セットアップメニュー [ファインダー表示サイズ (静止画 Lv)] が [ファインダー表示サイズ] に変更

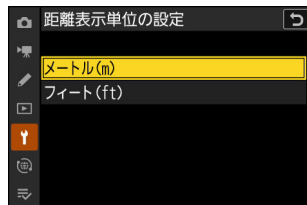
セットアップメニュー [ファインダー表示サイズ (静止画 Lv)] の設定が、静止画モードだけでなく動画モードにも対応しました。それに伴い、メニュー名も [ファインダー表示サイズ] に変更されました。ファインダーを見ながら撮影や再生する場合に、ファインダーの表示倍率を [標準] または [小さめ] から選べます。

マニュアルフォーカス撮影時に表示されるフォーカス距離指標に距離表示機能が追加

マニュアルフォーカスで撮影する場合に表示されるフォーカス距離指標に、カメラからピントが合う位置までの距離が表示されるようになりました。



- 距離を表示する単位は、セットアップメニューに追加された**【距離表示単位の設定】**で**【メートル (m)】**または**【フィート (ft)】**から選べます。



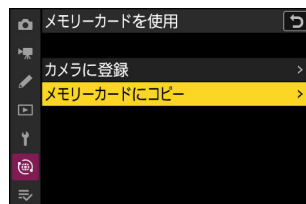
- 表示される距離表示は目安です。使用するレンズによっては、実際の距離と異なる場合があります。




ネットワークメニュー [FTP サーバーと接続] の機能変更と機能追加

ネットワークメニュー [FTP サーバーと接続] に機能変更および新規機能の追加があります。

メモリーカードに保存できる FTP サーバーとの接続設定が 99 件まで増加

ネットワークメニュー [FTP サーバーと接続] > [接続設定] > [メモリーカードを使用] > [メモリーカードにコピー] で保存できる接続設定が 1 件から 99 件に増えました。



- [メモリーカードにコピー] を選んで  を押し、メモリーカードに接続設定を選んで  を押します。コピー先 (1~99) を選んで  ボタンを押すと、選んだ接続設定がメモリーカードにコピーされます。



接続エラー時に自動で再接続する機能の追加

ネットワークメニュー [FTP サーバーと接続] > [オプション] に [接続維持の優先] が追加されました。[ON] に設定すると、無線エラー、TCP/IP エラー、または FTP エラーが発生してネットワーク接続ができなかった場合に、約 15 秒後に再度ネットワーク接続処理を行います。接続処理はカメラがネットワークに接続されるまで繰り返し行なわれます。

- [ON] に設定すると、カスタムメニュー c3 [パワーオフ時間] > [半押しタイマー] の設定にかかわらず、半押しタイマーはオフになりません。バッテリーの消費が早くなります。

連動リリースモードの設定方法の変更

ネットワークメニュー [カメラと接続] に [グループ設定] が追加になったことで、連動リリースモードの設定方法が変更になりました。連動リリースを行う場合に、グループを作成して各グループごとにリモートカメラを設定できます。グループを切り換えると、マスターカメラから制御するリモートカメラも切り替わります。

- 活用ガイド「他のカメラとの接続」>「連動リリースモードを使用する」をこの項目の内容に読み替えてください。
- リモートカメラはグループごとに登録します。ファームウェアバージョン C:1.xx 以前は [カメラと接続] にあった [リモートカメラリスト] は、ネットワークメニュー [カメラと接続] > [グループ設定] > [(グループ表示名)] > [リモートカメラリスト] に移動しています。

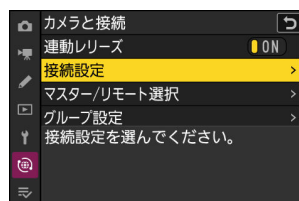
連動リリース用の接続設定を作成して撮影する

連動リリースを行うための接続設定を新規に作成します。撮影した画像はそれぞれのカメラのメモリーカードに記録されます。連動リリースモードで撮影する全てのカメラで、同様の設定を行ってください。

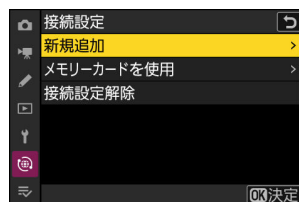
無線 LAN で接続する

無線 LAN 接続用の接続設定を作成します。

- 1 ネットワークメニュー [カメラと接続] で [接続設定] を選び、マルチセレクターの **Ⓢ** を押す

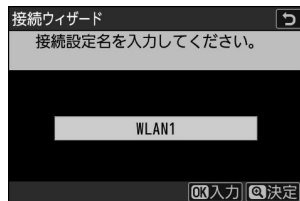


- 2 [新規追加] (New Add) を選び、**Ⓢ** ボタンを押す



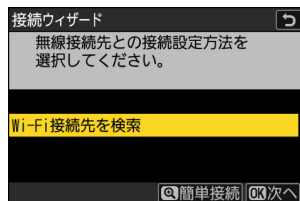
3 接続設定名を入力する

- 変更しない場合は、そのまま **Q** ボタンを押すと、接続方法の設定画面が表示されます。
- 設定した接続設定名は、ネットワークメニュー [**カメラと接続**] > [**接続設定**] に一覧で表示されます。
- 接続設定名を変更するには、**⊗** ボタンを押します。任意の接続設定名を入力して **Q** ボタンを押すと、接続設定名を決定します。



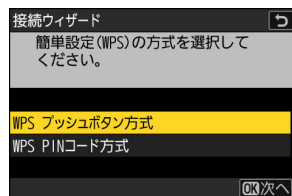
4 [Wi-Fi 接続先を検索] を選び、**⊗** ボタンを押す

カメラの周辺にある無線 LAN アクセスポイントを検索して、検出した接続先の SSID を表示します。



✓ 【簡単接続】で接続する

- 手順 4 で **Q** ボタンを押すと、SSID や暗号キーを入力せずに無線 LAN アクセスポイントに接続できます。**⊗** ボタンを押して接続方法を選んでください。

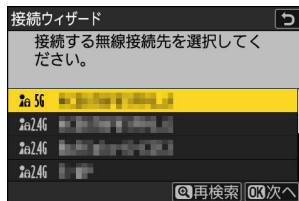


接続方法	内容
[WPS プッシュボタン方式]	無線 LAN アクセスポイントに WPS プッシュボタンがある場合に使用できます。WPS プッシュボタンを押した後にカメラの ⊗ ボタンを押すと、無線 LAN アクセスポイントに接続できます。
[WPS PIN コード方式]	カメラに PIN コードが表示されます。パソコンを使用して無線 LAN アクセスポイントに PIN コードを入力します。無線 LAN アクセスポイントに PIN コードを入力する方法については、お使いの無線 LAN アクセスポイントの使用説明書をご覧ください。

- 接続が完了したら、手順 7 に進んでください。

5 接続先の SSID を選ぶ

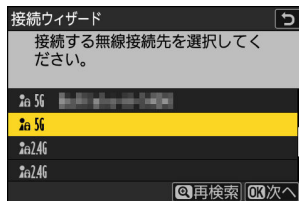
- 接続先の SSID を選んで **ⓧ** ボタンを押します。
- 検出された SSID の周波数帯をアイコンで確認できます。
- 暗号ありの SSID には **🔒** が表示されます。暗号あり **🔒** の SSID を選んだ場合は、暗号キーの設定画面が表示されます。暗号なしの接続先を選んだ場合は手順 7 へお進みください。
- **🔍** ボタンを押すと無線接続先を再検索します。



SSID が非公開に設定されている場合

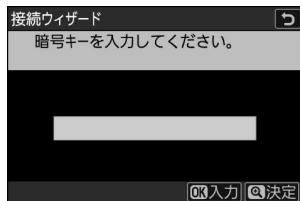
無線 LAN アクセスポイントが SSID を非公開に設定している場合、検出された SSID 一覧に SSID 名が表示されません。

- 非公開の SSID に接続したい場合、空欄になっている項目を選択して **ⓧ** ボタンを押してください。続いて **ⓧ** ボタンを押すと、SSID 入力画面になります。
- 接続したい SSID 名を入力し、**🔍** ボタンを押してください。もう一度 **🔍** ボタンを押すと、暗号キーの設定画面が表示されます。



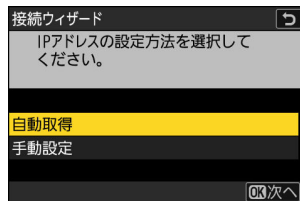
6 暗号キーを入力する

- Ⓞ ボタンを押して、無線 LAN アクセスポイントで使用している暗号キーを入力します。
- 無線 LAN アクセスポイントの暗号キーについては、無線 LAN アクセスポイントの使用説明書などをご覧ください。
- Ⓞ ボタンを押して、暗号キーの入力を完了します。
- もう一度 Ⓞ ボタンを押すと、接続を開始します。接続に成功すると、図のような画面が数秒間表示されます。



7 IP アドレスの設定方法を選んで設定する

IP アドレスの設定方法を選んで **Ⓢ** ボタンを押します。



設定方法	内容
[自動取得]	<p>カメラが自動で IP アドレスを取得します。IP アドレスを取得すると IP アドレス設定完了画面が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">• この後の手順でリモートカメラの IP アドレスを入力する必要があるため、リモートカメラに設定するカメラでは IP アドレスを控えておくことをおすすめします。
[手動設定]	<p>IP アドレス、サブネットマスクを手動で入力します。</p> <ul style="list-style-type: none">• Ⓢ ボタンを押すと、IP アドレス入力画面が表示されます。• メインコマンドダイヤルを回して、変更したい桁を選びます。• Ⓢ を押して数値を変更し、Ⓢ ボタンを押して決定します。• Ⓢ ボタンを押すと、IP アドレス設定完了画面が表示されます。再度 Ⓢ ボタンを押すと、サブネットマスク入力画面が表示されます。• サブネットマスクは Ⓢ を押して数値を変更し、Ⓢ ボタンを押して決定すると、IP アドレス設定完了画面が表示されます。

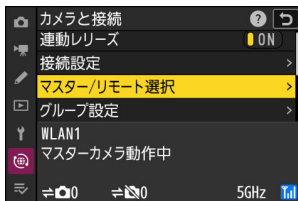
8 IP アドレス設定完了画面が表示されたら **Ⓢ** ボタンを押す

無線接続が開始され、カメラがアクセスポイントに接続されると、接続設定名が表示されます。

9 [マスター/リモート選択] を選んで を押す

カメラをマスターカメラにするか、リモートカメラにするかを設定できます。

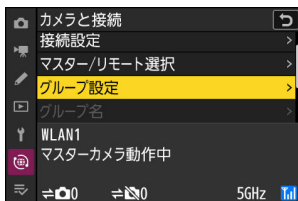
- **[マスターカメラ]**: マスターカメラに設定したカメラのリリースボタンを押すと、連動してリモートカメラのシャッターがきれます。マスターカメラは1台のみ設定してください。複数のカメラをマスターカメラに設定した場合、最初にネットワークに接続したカメラがマスターカメラとして使用できます。
- **[リモートカメラ]**: マスターカメラのリリースに連動してシャッターがきれます。



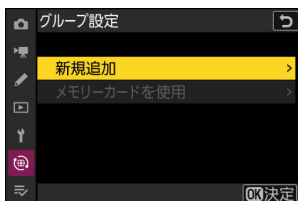
10 連動リリースを行う全てのカメラで手順 1 から 9 を繰り返す

リモートカメラに設定するカメラは手順 9 で **[リモートカメラ]** を選んでください。


11 マスターカメラで **[グループ設定]** を選んで を押す



12 **[新規追加]** を選び、 ボタンを押す



13 グループの表示名を入力する

- リモートカメラを登録するグループの表示名を設定します。表示名は32文字まで入力できます。
-  ボタンを押して決定します。



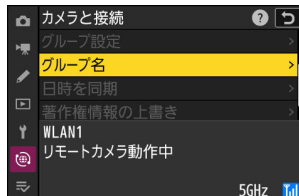
14 【グループ名】を選んで を押し、グループ名を設定する

連動リリースを行うカメラのグループ名を設定できます。グループ名は8文字まで入力できます。



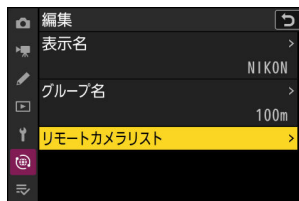
リモートカメラに【グループ名】を設定する

マスターカメラで設定したグループ名をリモートカメラにも設定してください。グループ名の設定はネットワークメニュー【カメラと接続】>【グループ名】で行えます。



15 【リモートカメラリスト】を選んで を押す

グループ設定内で使用するリモートカメラを登録します。リモートカメラは【01】～【16】まで最大16台登録できます。



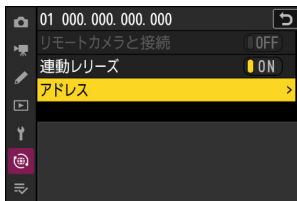
16 リモートカメラの登録先を選んで を押す

リモートカメラの設定画面が表示されます。



17 [アドレス] を選んで **↵** を押す

IP アドレス入力画面が表示されます。



18 リモートカメラの IP アドレスを入力する

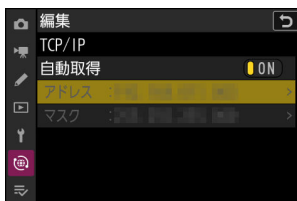
手順 7 で取得または設定したリモートカメラの IP アドレスを入力します。

- メインコマンドダイヤルを回して、変更したい桁を選びます。
- **⊕** **⊖** を押して数値を変更し、**⊗** ボタンを押して決定します。
- **Ⓚ** ボタンを押すと、リモートカメラがマスターカメラに登録されてカメラ同士が接続されます。



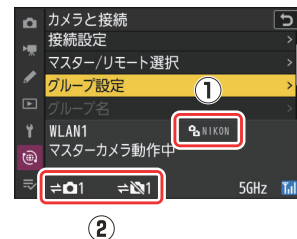
ヒント：リモートカメラの IP アドレスを確認する

リモートカメラの IP アドレスは、それぞれのカメラのネットワークメニュー [カメラと接続] > [接続設定] で連動レリーズ用の接続設定を選んで **↵** を押し、[TCP/IP] を選ぶと確認できます。




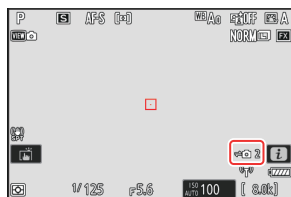
19 すべてのリモートカメラの登録を行う

- 無線接続している場合、接続している SSID の周波数帯が表示されます。
- マスターカメラに手順 13 で設定したグループの表示名 (①) と、接続済みおよび未接続のリモートカメラの台数 (②) が表示されます。

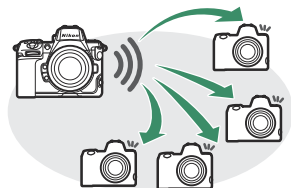


20 撮影する

- マスターカメラの撮影画面に  アイコンと接続済みのリモートカメラの台数が表示されます。



- マスターカメラのリリースボタンを押すと、連動してリモートカメラが動作します。



接続エラーが発生している場合

接続エラーが発生しているリモートカメラがある場合、台数表示が赤く変化し、接続できていないリモートカメラの台数が表示されます。

有線 LAN で接続する

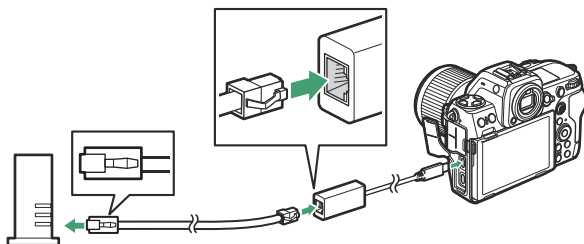
有線 LAN 接続用の接続設定を作成します。このカメラと他のカメラを有線 LAN で接続するには、市販の USB Type-C 端子の USB-LAN 変換アダプターが必要です。このカメラの USB 通信専用端子に接続してください。

- 動作確認済みの USB-LAN 変換アダプターは次の通りです。
 - Anker PowerExpand USB-C&イーサネット アダプタ A83130A1
 - Anker PowerExpand USB-C&イーサネット アダプタ A83130A2
- USB-LAN 変換アダプターは、カメラの USB 充電専用端子に接続すると機能しませんのでご注意ください。

カメラに市販の USB Type-C 端子の USB-LAN 変換アダプターを接続してイーサネットケーブルを差し込むと、他のカメラと有線 LAN 接続できます。

1 カメラの USB 通信専用端子に市販の USB-LAN 変換アダプターを接続し、イーサネットケーブルでルーターと接続する

- USB-LAN 変換アダプターの LAN 端子にイーサネットケーブルを差し込みます。ケーブルは無理な力を加えず、端子に真っ直ぐに差し込んでください。
- ケーブルの反対側の端子はルーターに接続してください。

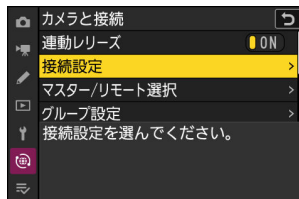


- 接続する全てのリモートカメラをイーサネットケーブルでルーターに接続してください。

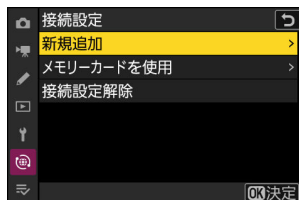
2 ネットワークメニュー [USB 通信専用端子の設定] を [USB-LAN] に設定する



3 ネットワークメニュー [カメラと接続] で [接続設定] を選び、マルチセレクトターの **⏏** を押す

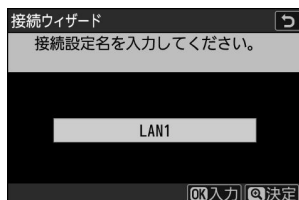


4 [新規追加] を選び、**Ⓜ** ボタンを押す



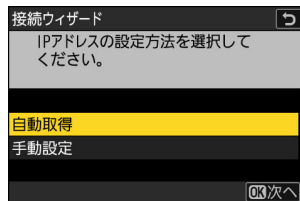
5 接続設定名を入力する

- 変更しない場合は、そのまま **Ⓜ** ボタンを押すと、IP アドレスの設定画面が表示されます。
- 設定した接続設定名は、ネットワークメニュー [カメラと接続] > [接続設定] に一覧で表示されます。
- 接続設定名を変更するには、**Ⓜ** ボタンを押します。任意の接続設定名を入力して **Ⓜ** ボタンを押すと、接続設定名を決定します。
- USB-LAN 変換アダプターの認識に時間がかかる場合があります。接続設定名が「WLAN1」と表示されている場合、有線 LAN を認識できずに、無線 LAN への接続設定になっています。⏏ をタッチするか、マルチセレクトターの **⏏** を押して手順 4 の画面に戻り、約 10 秒程度待つてから再度設定を行ってください。



6 IP アドレスの設定方法を選んで設定する

IP アドレスの設定方法を選んで **OK** ボタンを押します。



設定方法	内容
[自動取得]	<p>カメラが自動で IP アドレスを取得します。IP アドレスを取得すると IP アドレス設定完了画面が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">• この後の手順でリモートカメラの IP アドレスを入力する必要があるため、リモートカメラに設定するカメラでは IP アドレスを控えておくことをおすすめします。
[手動設定]	<p>IP アドレス、サブネットマスクを手動で入力します。</p> <ul style="list-style-type: none">• OK ボタンを押すと、IP アドレス入力画面が表示されます。• メインコマンドダイヤルを回して、変更したい桁を選びます。• ← を押して数値を変更し、OK ボタンを押して決定します。• Q ボタンを押すと、IP アドレス設定完了画面が表示されます。再度 Q ボタンを押すと、サブネットマスク入力画面が表示されます。• サブネットマスクは ← を押して数値を変更し、OK ボタンを押して決定すると、IP アドレス設定完了画面が表示されます。

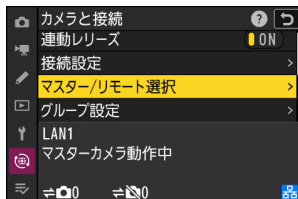
7 IP アドレス設定完了画面が表示されたら **OK** ボタンを押す

接続が開始されます。カメラがネットワークに接続されると、接続設定名が表示されます。

8 [マスター/リモート選択] を選んで を押す

カメラをマスターカメラにするか、リモートカメラにするかを設定できます。

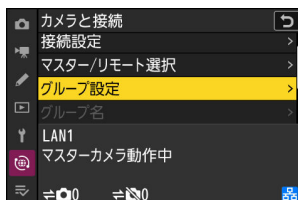
- **[マスターカメラ]**: マスターカメラに設定したカメラのリリースボタンを押すと、連動してリモートカメラのシャッターがきれます。マスターカメラは1台のみ設定してください。複数のカメラをマスターカメラに設定した場合、最初にネットワークに接続したカメラがマスターカメラとして使用できます。
- **[リモートカメラ]**: マスターカメラのリリースに連動してシャッターがきれます。



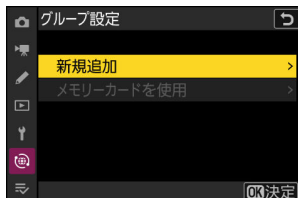
9 連動リリースを行う全てのカメラで手順3から8を繰り返す

- リモートカメラに別のZ8を使用する場合は、手順2から8を繰り返してください。
- リモートカメラに設定するカメラは手順8で **[リモートカメラ]** を選んでください。


10 マスターカメラで [グループ設定] を選んで を押す



11 [新規追加] を選び、 ボタンを押す



12 グループの表示名を入力する

- リモートカメラを登録するグループの表示名を設定します。表示名は32文字まで入力できます。
-  ボタンを押して決定します。



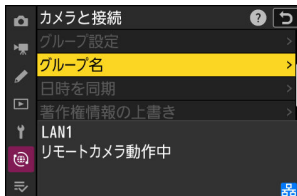
13 [グループ名] を選んで を押し、グループ名を設定する

連動リリースを行うカメラのグループ名を設定できます。グループ名は8文字まで入力できます。



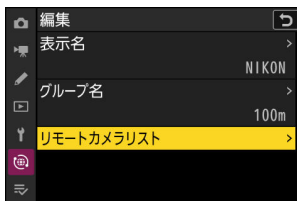
リモートカメラに [グループ名] を設定する

マスターカメラで設定したグループ名をリモートカメラにも設定してください。グループ名の設定はネットワークメニュー [カメラと接続] > [グループ名] で行えます。



14 [リモートカメラリスト] を選んで を押す

グループ設定内で使用するリモートカメラを登録します。リモートカメラは [01] ~ [16] まで最大 16 台登録できます。



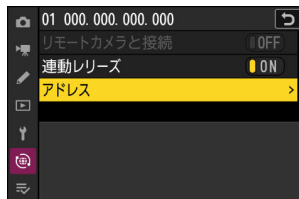
15 リモートカメラの登録先を選んで を押す

リモートカメラの設定画面が表示されます。







16 [アドレス] を選んで を押す

IP アドレス入力画面が表示されます。




17 リモートカメラの IP アドレスを入力する

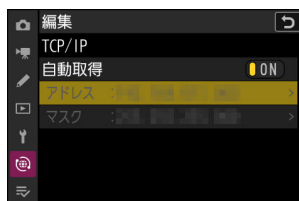
手順 6 で取得または設定したリモートカメラの IP アドレスを入力します。

- メインコマンドダイヤルを回して、変更したい桁を選びます。
-   を押して数値を変更し、 ボタンを押して決定します。
-  ボタンを押すと、リモートカメラがマスターカメラに登録されてカメラ同士が接続されます。



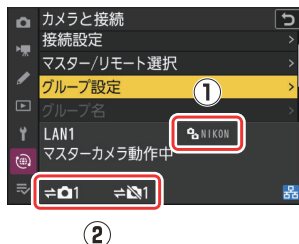
ヒント：リモートカメラの IP アドレスを確認する

リモートカメラの IP アドレスは、それぞれのカメラのネットワークメニュー [カメラと接続] > [接続設定] で連動レリーズ用の接続設定を選んで  を押し、[TCP/IP] を選ぶと確認できます。




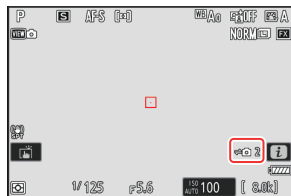
18 すべてのリモートカメラの登録を行う

マスターカメラに手順 12 で設定したグループの表示名 (①) と、接続済みおよび未接続のリモートカメラの台数 (②) が表示されます。

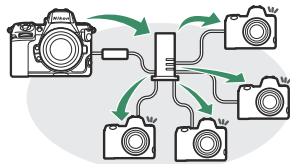


19 撮影する

- マスターカメラの撮影画面に  アイコンと接続済みのリモートカメラの台数が表示されます。



- マスターカメラのリリースボタンを押すと、連動してリモートカメラが動作します。




接続エラーが発生している場合

接続エラーが発生しているリモートカメラがある場合、台数表示が赤く変化し、接続できていないリモートカメラの台数が表示されます。




ヒント：一時的に連動リリースをオフにするには

ネットワークメニュー [カメラと接続] > [連動リリース] を [OFF] に設定すると、カメラの接続を維持したまま連動リリース機能をオフにできます。

ヒント：リモートカメラの状態を確認する

マスターカメラでネットワークメニュー [カメラと接続] > [グループ設定] > [(グループ表示名)] > [リモートカメラリスト] を選んで  を押すと、リモートカメラの状態を確認できます。



- リモートカメラの個体は IP アドレスで判別できます。
- リモートカメラの接続状況が表示されています。
 - [Connected]：正しく接続されています。
 - [Busy]：他のマスターカメラがリモートカメラを制御しています。
 - [Error]：次のいずれかの状態になっています。
 - リモートカメラの半押しタイマーがオフ
 - リモートカメラの電源が OFF
 - マスターカメラとリモートカメラのグループ名が異なる
 - IP アドレスが間違っている
 - [OFF]：次のいずれかの状態になっています。
 - リモートカメラが未登録
 - [リモートカメラと接続] が [OFF]
- [Connected] と表示されているリモートカメラを選んで  を押すと、FTP 送信残数、FTP 接続状態、バッテリー残量、撮影可能枚数を確認できます。
- 一度連動リリースを行うと、各リモートカメラの最後の撮影時刻が表示されます。
- リモートカメラを選んで  を押すと、選んだリモートカメラの設定をマスターカメラから変更できます。
 - [リモートカメラと接続] を [OFF] に設定すると、リモートカメラとの接続を一時的に解除できます。
 - [連動リリース] を [OFF] に設定すると、マスターカメラからリモートカメラの連動リリースを一時的にオフにできます。
 - [アドレス] を選んで  を押すと、リモートカメラの IP アドレスを指定できます。IP アドレス設定後、[リモートカメラと接続] を [ON] にするとリモートカメラに接続できます。指定した IP アドレスのリモートカメラが存在しない場合、接続できません。



ヒント：グループ設定をメモリーカードに保存する

ネットワークメニュー [カメラと接続] > [グループ設定] > [メモリーカードを使用] > [メモリーカードにコピー] 選んで **Ⓢ** を押し、メモリーカードにコピーしたいグループ設定を選んで **Ⓢ** を押しします。コピー先 (1~99) を選んで **Ⓢ** ボタンを押すと、選んだグループ設定がメモリーカードにコピーされます。保存したグループ設定は [カメラに登録] で登録できます。

ネットワークメニュー [カメラと接続] に [著作権情報の上書き] が追加

ネットワークメニュー [カメラと接続] に [著作権情報の上書き] が追加されました。実行すると、現在接続しているグループ内のリモートカメラの著作権情報を、マスターカメラに設定されている著作権情報に上書きします。

リモートグリップ MC-N10 と AirGlu アクセサリーの併用が可能

ファームウェアバージョン C:1.xx 以前ではリモートグリップ MC-N10 をカメラに接続すると Bluetooth の機能が全て使用できなくなりますが、C:2.00 からは Atomos 社の AirGlu アクセサリー UltraSync BLUE を Bluetooth で接続して使用できるようになりました。

ファームウェア C:2.00 でのメニュー・初期設定一覧

ファームウェアを C:2.00 にバージョンアップした場合のメニューおよび初期設定は次の通りです。

静止画撮影メニュー

- [撮影メニューの管理] : A
- [撮影メニューの拡張] : OFF
- [記録フォルダー設定]
 - [フォルダーグループ名変更] : NCZ_8
 - [フォルダー番号指定] : 100
 - [既存フォルダーから選択] : —
- [ファイル名設定] : DSC
- [主スロットの選択] : CFexpress/XQD スロット
- [副スロットの機能] : 順次記録
- [撮像範囲]
 - [撮像範囲設定] : FX (36×24)
 - [DX クロップ警告表示] : OFF
- [階調モード] : SDR
- [画質モード] : NORMAL
- [画像サイズ設定]
 - [画像サイズ] : サイズ L
 - [画像サイズ (DX) の適用] : OFF
 - [画像サイズ (DX)] : サイズ L
- [RAW 記録] : 高効率 ★
- [ISO 感度設定]
 - [ISO 感度] : 100
 - [感度自動制御] : ON
 - [制御上限感度] : 25600
 - [使用時の制御上限感度] : フラッシュなしの設定と同じ
 - [低速限界設定] : オート
- [ホワイトバランス] : オート : 白を優先する
- [ピクチャーコントロール] : オート
- [カスタムピクチャーコントロール] : —
- [ピクチャーコントロール (HLG)] : スタンダード
- [色空間] : sRGB
- [アクティブ D-ライティング] : しない
- [長秒時ノイズ低減] : OFF

- [高感度ノイズ低減] : 標準
- [ヴェネットコントロール] : 標準
- [回折補正] : ON
- [自動ゆがみ補正] : ON
- [美肌効果] : しない
- [人物印象調整] : しない
- [静止画フリッカー低減] : OFF
- [高周波フリッカー低減] : しない
- [測光モード] : マルチパターン測光
- [フラッシュ発光]
 - [発光モード] : TTL 調光
 - [ワイヤレス設定] : しない
 - [増灯発光モード] : グループ発光
- [フラッシュモード] : 通常発光
- [フラッシュ調光補正] : 0.0
- [フォーカスモード] : シングル AF
- [AF エリアモード] : シングルポイント AF
- [AF 時の被写体検出設定] : オート
- [手ブレ補正] : スポーツ
- [オートブラケティング]
 - [オートブラケティングのセット] : AE・フラッシュブラケティング
 - [コマ数] : 0
 - [補正ステップ] : 1.0
- [多重露出]
 - [多重露出モード] : しない
 - [コマ数] : 2
 - [合成モード] : 加算平均
 - [合成前の画像を保存 (RAW)] : ON
 - [確認撮影] : ON
 - [1 コマ目の画像 (RAW) の指定] : —
- [HDR 合成]
 - [HDR モード] : しない
 - [HDR 強度] : オート
 - [合成前の画像を保存 (RAW)] : OFF
- [インターバルタイマー撮影]
 - [開始日時の設定] : 即時
 - [撮影間隔] : 1 分
 - [撮影回数×1 回のコマ数] : 0001×1
 - [露出平滑化] : ON
 - [撮影間隔優先] : OFF
 - [撮影間隔毎の AF 駆動] : OFF
 - [オプション] : しない
 - [撮影開始時の記録フォルダー]

- [新規フォルダー作成] :
- [ファイル番号リセット] :
- [タイムラプス動画]
 - [撮影間隔] : 5 秒
 - [撮影時間] : 25 分
 - [露出平滑化] : ON
 - [撮像範囲設定] : FX
 - [動画記録ファイル形式] : H.265 8-bit (MOV)
 - [画像サイズ/フレームレート] : 3840×2160 30p
 - [撮影間隔優先] : OFF
 - [撮影間隔毎の AF 駆動] : OFF
 - [動画記録先] : CFexpress/XQD スロット
- [フォーカスシフト撮影]
 - [撮影回数] : 100
 - [フォーカスステップ幅] : 5
 - [待機時間] : 0
 - [露出固定] : ON
 - [フォーカス位置の自動リセット] : OFF
 - [撮影開始時の記録フォルダー]
 - [新規フォルダー作成] :
 - [ファイル番号リセット] :
- [ピクセルシフト撮影]
 - [ピクセルシフト撮影モード] : しない
 - [撮影コマ数] : 16
 - [ディレー] : 2 秒
 - [待機時間] : 0 秒
- [オートキャブチャー]
 - [ユーザープリセットの選択] : P-1

動画撮影メニュー

- [撮影メニューの管理] : A
- [撮影メニューの拡張] : OFF
- [記録フォルダー設定]
 - [フォルダーグループ名変更] : NCZ_8
 - [フォルダー番号指定] : 100
 - [既存フォルダーから選択] : —
- [ファイル名設定] : DSC
- [動画記録先] : CFexpress/XQD スロット
- [動画記録ファイル形式] : H.265 8-bit (MOV)
- [画像サイズ/フレームレート] : 3840×2160 30p
- [動画の画質 (N-RAW)] : 高画質

- [撮像範囲]
 - [撮像範囲設定] : FX
 - [DX クロップ警告表示] : OFF
- [オーバーサンプリングの拡張] : OFF
- [ISO 感度設定]
 - [制御上限感度] : 25600
 - [M モード時の感度自動制御] : ON
 - [M モード時の ISO 感度] : 100
- [ホワイトバランス] : 静止画の設定と同じ
- [ピクチャーコントロール] : 静止画の設定と同じ
- [カスタムピクチャーコントロール] : —
- [HLG 画質調整]
 - [クイックシャープ] : 0
 - [コントラスト] : 0
 - [色の濃さ (彩度)] : 0
 - [色合い (色相)] : 0
- [アクティブ D-ライティング] : しない
- [高感度ノイズ低減] : 標準
- [ヴェネットコントロール] : 標準
- [回折補正] : ON
- [自動ゆがみ補正] : ON
- [美肌効果] : 静止画の設定と同じ
- [人物印象調整] : しない
- [動画フリッカー低減] : オート
- [高周波フリッカー低減] : しない
- [測光モード] : マルチパターン測光
- [フォーカスモード] : フルタイム AF
- [AF エリアモード] : シングルポイント AF
- [AF 時の被写体検出設定]
 - [被写体検出] : オート
 - [被写体未検出時の AF 駆動] : ON
- [手ブレ補正] : 静止画の設定と同じ
- [電子手ブレ補正] : OFF
- [マイク感度] : オート
- [アッテネーター] : OFF
- [録音帯域] : 広帯域
- [風切り音低減] : OFF
- [マイク端子のプラグインパワー] : ON
- [ヘッドホン音量] : 15
- [タイムコード]
 - [タイムコード記録] : しない
 - [カウントアップ方式] : レックラン
 - [タイムコードの起点] : —






- [ドロップフレーム] : ON
- [外部記録制御 (HDMI)] : OFF
- [ハイレゾズーム] : OFF
- [オートキャブチャー]
 - [ユーザープリセットの選択] : P-1



カスタムメニュー

- [カスタムメニューの管理] : A
- a [フォーカス]
 - a1 [AF-C モード時の優先] : レリーズ
 - a2 [AF-S モード時の優先] : フォーカス
 - a3 [AF ロックオン]
 - [横切りへの反応] : 3
 - [被写体の動き] : スムーズ
 - a4 [AF 点数] : 全点
 - a5 [縦/横位置フォーカスポイント切換] : しない
 - a6 [半押し AF レンズ駆動] : する
 - a7 [フォーカスポイントの引き継ぎ] : オート
 - a8 [AF エリアモードの限定]
 - [ピンポイント AF] :
 - [シングルポイント AF] : (固定)
 - [ダイナミック AF (S)] :
 - [ダイナミック AF (M)] :
 - [ダイナミック AF (L)] :
 - [ワイドエリア AF (S)] :
 - [ワイドエリア AF (L)] :
 - [ワイドエリア AF (C1)] :
 - [ワイドエリア AF (C2)] :
 - [3D-トラッキング] :
 - [オートエリア AF] :
 - a9 [フォーカスモードの制限] : 制限しない
 - a10 [フォーカスポイント循環選択] : OFF
 - a11 [フォーカスポイント表示]
 - [マニュアルフォーカス時の表示] : ON
 - [ダイナミック AF 時のアシスト表示] : ON
 - [AF-C モード時の合焦表示] : OFF
 - [3D-トラッキング時の表示色] : 白
 - [フォーカスポイントの太さ] : 1
 - a12 [内蔵 AF 補助光の照射設定] : ON
 - a13 [フォーカスピーキング]
 - [フォーカスピーキング表示] : OFF

- [フォーカスピーキングの感度] : 2 (標準)
- [フォーカスピーキングの表示色] : 赤
- a14 [フォーカスポイントの移動速度] : 標準
- a15 [AF 設定時のフォーカスリング操作]² : ON
- b [露出・測光]
 - b1 [ISO 感度設定ステップ幅] : 1/3 段
 - b2 [露出設定ステップ幅] : 設定 1/3 段 (補正 1/3 段)
 - b3 [露出補正簡易設定] : しない
 - b4 [マルチパターン測光の顔検出] : ON
 - b5 [中央部重点測光範囲] : 標準
 - b6 [基準露出レベルの調節]
 - [マルチパターン測光] : 0
 - [中央部重点測光] : 0
 - [スポット測光] : 0
 - [ハイライト重点測光] : 0
 - b7 [絞り値変化時の露出維持] : しない
- c [AE ロック・タイマー]
 - c1 [シャッターボタン AE ロック] : しない
 - c2 [セルフタイマー]
 - [時間] : 10 秒
 - [撮影コマ数] : 1
 - [連続撮影間隔] : 0.5 秒
 - c3 [パワーオフ時間]
 - [画像の再生] : 10 秒
 - [メニュー表示] : 1 分
 - [撮影直後の画像確認] : 4 秒
 - [半押しタイマー] : 30 秒
- d [撮影・記録・表示]
 - d1 [連続撮影速度]
 - [高速連続撮影] : 20 コマ/秒
 - [低速連続撮影] : 5 コマ/秒
 - d2 [連続撮影コマ数] : ∞
 - d3 [プリキャプチャー記録設定]
 - [プリ記録時間] : なし
 - [レリーズ後記録時間] : 最大
 - d4 [連動レリーズモード設定] : 連動する
 - d5 [露出ディレーモード] : しない
 - d6 [M モード時のシャッタースピード延長] : OFF
 - d7 [撮像範囲設定の限定]
 - [FX (36×24)] : (固定)
 - [DX (24×16)] :
 - [1:1 (24×24)] :
 - [16:9 (36×20)] :

- d8 [連番モード]: する
- d9 [ビューモード設定 (静止画 Lv)]: 撮影設定を優先
 - [撮影設定を優先]: フラッシュ使用時を含まない
 - [見やすさを重視]: オート
- d10 [スターライトビュー (静止画 Lv)]: OFF
- d11 [赤色画面表示]
 - [表示モードの選択]: しない
 - [赤色画面表示の明るさ]: 0
- d12 [イルミネーター点灯]: OFF
- d13 [連続撮影中の表示]: ON
- d14 [撮影タイミング表示]
 - [表示 Type の設定]: Type B
 - [TypeA 自動切り換え秒時]: 1/6 秒
- d15 [画面枠表示]: ON
- d16 [ガイドラインの種類]: 3×3
- d17 [水準器の種類]: Type A
- d18 [半押し拡大解除 (MF)]: OFF
- d19 [撮影画面カスタマイズ (画像モニター)]
 - [画面 1]: (固定)
 - [画面 2]:
 - [画面 3]:
 - [画面 4]:
 - [画面 5]:
- d20 [撮影画面カスタマイズ (ファインダー)]
 - [画面 1]: (固定)
 - [画面 2]:
 - [画面 3]:
 - [画面 4]:
- d21 [ファインダーの高フレームレート表示]: OFF
- e [フラッシュ・BKT 撮影]
 - e1 [フラッシュ撮影同調速度]: 1/200 秒
 - e2 [フラッシュ時シャッタースピード制限]: 1/60 秒
 - e3 [フラッシュ使用時の露出補正]: 全体を補正
 - e4 [⚡ 使用時の感度自動制御]: 被写体と背景
 - e5 [モデリング発光]: ON
 - e6 [BKT 変化要素 (M モード)]: フラッシュ・シャッタースピード
 - e7 [BKT の順序]: [0] → [-] → [+]
 - e8 [フラッシュ連続撮影時の優先]: 調光精度優先
- f [操作]
 - f1 [📷 メニューのカスタマイズ]: ピクチャーコントロール、ホワイトバランス、画質モード、画像サイズ、AF エリアモード/被写体検出、フォーカスモード、階調モード、手ブレ補正、撮影メニュー切り換え、カスタムボタンの機能 (撮影)、機内モード、メモリーカード情報表示

- f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)]
 - [Fn1 ボタン]: 撮影メニュー切り換え
 - [Fn2 ボタン]: 撮像範囲選択
 - [縦位置 Fn ボタン]: 露出補正
 - [フォーカスモードボタン]: フォーカスモード/AF エリアモード
 - [プロテクト/Fn3 ボタン]: ピクチャーコントロール
 - [AF-ON ボタン]: AF-ON
 - [サブセレクター中央]: AE-L/AF-L
 - [DISP ボタン]: ライブビュー情報表示の切り換え
 - [OK ボタン]: フォーカスポイント中央リセット
 - [再生ボタン]: 再生
 - [縦位置マルチセレクター中央]: AE-L/AF-L
 - [縦位置 AF-ON ボタン]: AF-ON ボタンと同じ
 - [動画撮影ボタン]: ライブビュー情報表示の消灯
 - [露出補正ボタン]: 露出補正
 - [ISO 感度ボタン]: ISO 感度
 - [コマンドダイヤル]
 - [露出設定]: P:  P*, S:  Tv, A:  Av/---, M:  Av/---Tv
 - [フォーカスモード/AF エリアモード設定]:  AF/MF
 - [拡大表示中のサブコマンドダイヤル]: 露出設定
 - [BKT ボタン]: オートブラケティング
 - [WB ボタン]: ホワイトバランス
 - [レンズの Fn ボタン]: AE-L/AF-L
 - [レンズの Fn2 ボタン]: AF-ON
 - [レンズの Fn リング (左回し)]: フォーカス位置の呼び出し
 - [レンズの Fn リング (右回し)]: フォーカス位置の呼び出し
 - [レンズのメモリーセットボタン]: フォーカス位置の登録
 - [レンズのコントロールリング]: (装着するレンズにより異なります)
- f3 [カスタムボタンの機能 (再生)]
 - [Fn1 ボタン]: 設定しない
 - [Fn2 ボタン]: 設定しない
 - [縦位置 Fn ボタン]: 設定しない
 - [DISP ボタン]: 情報表示の切り換え
 - [プロテクト/Fn3 ボタン]: プロテクト
 - [再生ボタン]: 撮影に戻る
 - [OK ボタン]: 拡大画面との切り換え
 - [サブコマンドダイヤル]
 - [画像送り]: 1 コマ
 - [動画再生]: 10 秒
 - [画像送り時の拡大位置]: 位置を継続
 - [拡大再生中の顔送り]: ON
 - [メインコマンドダイヤル]
 - [画像送り]: 1 コマ

- [動画再生]: 10 フレーム
- [画像送り時の拡大位置]: 位置を継続
- [動画撮影ボタン]: 設定しない
- [ISO 感度ボタン]: 設定しない
- [露出補正ボタン]: 設定しない
- [BKT ボタン]: 設定しない
- [WB ボタン]: 設定しない
- [レンズの Fn ボタン]: 設定しない
- [レンズの Fn2 ボタン]: 設定しない
- f4 [操作のロック]
 - [シャッタースピードのロック]: OFF
 - [絞り値のロック]: OFF
 - [フォーカスポイントのロック]: OFF
- f5 [コマンドダイヤル回転方向の変更]
 - [露出補正の設定時]: □
 - [シャッタースピード/絞り値 設定時]: □
- f6 [ボタンのホールド設定]: OFF
- f7 [インジケーターの +/- 方向]:  
- f8 [フォーカス回転方向の変更]: OFF
- f9 [フォーカスリングの角度設定]: ノンリニア
- f10 [コントロールリングの感度]: 敏感
- f11 [フォーカス/コントロールリング入れ換え]: OFF
- f12 [パワーズームのボタン操作 (PZ レンズ)]
 - [Q/☒ ボタンの使用]: OFF
 - [パワーズーム速度]: +3
- f13 [1 コマ再生時のフリック操作]
 - [上にフリック]: 設定しない
 - [下にフリック]: 設定しない
 - [1 コマ送りの操作方向]: 左 → 右
- f14 [サブセレクター中央を優先]: ON
- g [動画]
 - g1 [■ メニューのカスタマイズ]: ピクチャーコントロール、ホワイトバランス、画像サイズ/フレームレート、マイク感度、AF エリアモード/被写体検出、フォーカスモード、電子手ブレ補正、手ブレ補正、撮影メニュー切り換え、カスタムボタンの機能、機内モード、動画記録先
 - g2 [カスタムボタンの機能]
 - [Fn1 ボタン]: 撮影メニュー切り換え
 - [Fn2 ボタン]: 撮像範囲選択
 - [縦位置 Fn ボタン]: 露出補正
 - [フォーカスモードボタン]: フォーカスモード/AF エリアモード
 - [プロテクト/Fn3 ボタン]: ピクチャーコントロール
 - [AF-ON ボタン]: AF-ON
 - [サブセレクター中央]: AE-L/AF-L
 - [DISP ボタン]: ライブビュー情報表示の切り換え

- [OK ボタン]: フォーカスポイント中央リセット
- [再生ボタン]: 再生
- [縦位置マルチセレクト中央]: AE-L/AF-L
- [縦位置 AF-ON ボタン]: AF-ON ボタンと同じ
- [動画撮影ボタン]: 動画撮影
- [露出補正ボタン]: 露出補正
- [ISO 感度ボタン]: ISO 感度
- [コマンドダイヤル]
 - [露出設定]: A: Av/Tv、M: Av/Tv
 - [フォーカスモード/AF エリアモード設定]: AF/MF
 - [拡大表示中のサブコマンドダイヤル]: 露出設定
- [シャッターボタン]: 設定しない
- [WB ボタン]: ホワイトバランス
- [BKT ボタン]: 設定しない
- [レンズの Fn2 ボタン]: AF-ON
- [レンズの Fn ボタン]: AE-L/AF-L
- [レンズの Fn リング (右回し)]: フォーカス位置の呼び出し
- [レンズの Fn リング (左回し)]: フォーカス位置の呼び出し
- [レンズのメモリーセットボタン]: フォーカス位置の登録
- [レンズのコントロールリング]: (装着するレンズにより異なります)
- g3 [操作のロック]
 - [シャッタースピードのロック]: OFF
 - [絞り値のロック]: OFF
 - [フォーカスポイントのロック]: OFF
- g4 [AF エリアモードの限定]
 - [シングルポイント AF]: (固定)
 - [ワイドエリア AF (S)]:
 - [ワイドエリア AF (L)]:
 - [ワイドエリア AF (C1)]:
 - [ワイドエリア AF (C2)]:
 - [ターゲット追尾 AF]:
 - [オートエリア AF]:
- g5 [フォーカスモードの制限]: 制限しない
- g6 [AF 速度]: 0
 - [作動条件]: 常時有効
- g7 [AF 追従感度]: 4
- g8 [ハイレゾズーム速度]: 0
- g9 [パワーズームのボタン操作 (PZ レンズ)]
 - [ボタンの使用]: OFF
 - [パワーズーム速度]
 - [動画記録待機中]: +3
 - [動画記録中]: 0

- g10 [ISO 感度ステップ幅拡張 (M モード)] : しない
- g11 [シャッタースピード延長 (M モード)] : OFF
- g12 [ビューアシスト] : OFF
- g13 [ゼブラ表示]
 - [ゼブラ表示の検出モード] : しない
 - [ゼブラ表示のパターン] : パターン 1
 - [高輝度検出の範囲] : 250
 - [中間輝度検出の範囲] : 基準値 : 160、範囲 : ±10
- g14 [ゼブラ表示の検出モード制限] : 制限しない
- g15 [ガイドラインの種類] : 3×3
- g16 [輝度情報の種類] : ヒストグラム
- g17 [半押し拡大解除 (MF)] : OFF
- g18 [撮影画面カスタマイズ (画像モニター)]
 - [画面 1] : (固定)
 - [画面 2] :
 - [画面 3] :
 - [画面 4] :
- g19 [撮影画面カスタマイズ (ファインダー)]
 - [画面 1] : (固定)
 - [画面 2] :
 - [画面 3] :
- g20 [動画撮影中の赤枠表示] : ON

- 1 設定内容が初期設定と異なる場合、変更されたメニュー項目の左上にアスタリスク (*) を表示します。
- 2 このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。

再生メニュー

- [削除] : —
- [再生フォルダー設定] : 全てのフォルダー
- [再生画面設定]
 - [フォーカスポイント] :
 - [グループの先頭表示] :
 - [露出情報] :
 - [ハイライト] :
 - [RGB ヒストグラム] :
 - [撮影情報] :
 - [統合表示] :
 - [画像のみ] :
 - [ファイル情報] :

- [撮影基本情報] :
- [フラッシュ情報] :
- [ピクチャーコントロール/HLG 情報] :
- [撮影情報その他] :
- [著作権情報] :
- [位置情報] :
- [IPTC 情報] :
- [W スロット同時削除の設定] : する (選択肢あり)
- [分割記録時の再生スロット] : CFexpress/XQD スロット
- [フィルター再生の条件設定]
 - [プロテクト] :
 - [画像の種類] :
 - [レーティング] :
 - [送信指定 (PC)] :
 - [送信指定 (FTP)] :
 - [音声メモ] :
 - [画像編集済み] :
- [グループ再生の設定]
 - [サブセレクターで先頭画像表示] : ON
 - [自動連続再生] : OFF
 - [自動連続再生の設定]
 - [ループ再生] : OFF
 - [再生開始までの待機時間] : 通常
 - [自動連続再生の速度] : 30 コマ/秒
 - [サムネイルのグループ表示] : OFF
- [撮影直後の画像確認] : しない
- [削除後の次再生画像] : 後ろのコマ
- [連続撮影後の再生画像] : 最後の画像
- [縦横位置情報の記録] : ON
- [画像の自動回転] : ON
- [画像コピー] : —

セッティングメニュー

- [カードの初期化 (フォーマット)] : —
- [言語 (Language)] : (国や地域により異なります)
- [タイムゾーンと日時]
 - [タイムゾーン] : (国や地域により異なります)
 - [日時の設定] : —
 - [日付の表示順] : (国や地域により異なります)
 - [夏時間の設定] : OFF

- [モニターの明るさ] : 0
- [モニターのカラースタマイズ] : A-B: 0、G-M: 0
- [ファインダーの明るさ] : オート
- [ファインダーのカラースタマイズ] : A-B: 0、G-M: 0
- [ファインダー表示サイズ] : 標準
- [モニターモードの限定]
 - [自動表示切り換え] :
 - [ファインダーのみ] :
 - [モニターのみ] :
 - [ファインダー優先 1] :
 - [ファインダー優先 2] :
- [画面情報の自動回転] : ON
- [AF 微調節の設定]
 - [AF 微調節の適用] : OFF
 - [レンズの調節と登録] : —
 - [未登録レンズの調節] : —
 - [登録済みレンズリスト] : —
 - [装着レンズの調節値を選択] : —
- [レンズ情報手動設定]
 - [レンズ No.] : 1
 - [焦点距離 (mm)] : --
 - [開放絞り値] : --
 - [レンズ名] : --
- [距離表示単位の設定] : メートル (m)
- [フォーカス位置の記憶] : OFF
- [ズーム位置の記憶 (PZ レンズ)] : OFF
- [自動電源 OFF 温度] : 標準
- [電源 OFF 時のセンサーシールド] : 閉じない
- [イメージセンサークリーニング]
 - [電源スイッチに連動] : 電源 OFF で実行
- [イメージダストオフデータ取得] : —
- [ピクセルマッピング] : —
- [画像コメント]
 - [コメント添付] : OFF
- [著作権情報]
 - [著作権情報添付] : OFF
- [IPTC]
 - [編集と登録] : —
 - [削除] : —
 - [撮影時自動付加] : しない
 - [メモリーカードを使用] : —
- [音声メモの設定]
 - [録音の操作] : 押し続けている間録音

- [音声の出力 (再生)] : スピーカー/ヘッドホン
- [電子音]
 - [電子シャッター音] : ON
 - [音量] : 3
 - [音の選択] : Type A
 - [ピープ音] : 無効
 - [音量] : 2
 - [音の高さ] : 低音
- [サイレントモード] : OFF
- [タッチ操作]
 - [タッチ操作の設定] : 有効
 - [グローブモード] : OFF
- [HDMI]
 - [出力解像度] : オート
 - [出力レンジ] : オート
 - [出力映像への情報表示] : ON
 - [出力中のカメラ側表示] : ON
- [USB 接続時の優先] : 画像転送優先
- [位置情報] ※
 - [半押しタイマー] : ON
 - [衛星による日時合わせ] : OFF
 - [情報表示] : ー
- [リモコン (WR) 設定]
 - [LED ランプの点灯] : ON
 - [リンクモード] : ペアリング
- [リモコン (WR) の Fn ボタンの機能] : 設定しない
- [認証情報] : ー
- [電池チェック] : ー
- [USB 給電] : ON
- [パワーセーブ (静止画モード)] : OFF
- [カードなし時リリース] : リリース許可
- [メニュー設定の保存と読み込み] : ー
- [カメラの初期化] : ー
- [ファームウェアバージョン] : ー

※ GPS 機器を接続したときのみ表示されます。

ネットワークメニュー

- [機内モード] : OFF
- [スマートフォンと接続]
 - [ペアリング (Bluetooth)]
 - [Bluetooth 通信機能] : OFF

- [送信指定]
 - [撮影後自動送信指定] : ON
- [Wi-Fi 接続]
 - [Wi-Fi 接続の設定]
 - [認証/暗号] : WPA2-PSK/WPA3-SAE
 - [チャンネル] : オート
 - [電源 OFF 中の通信] : ON
 - [位置情報 (スマートフォン)] : —
- [PC と接続]
 - [接続設定] : —
 - [動作モードの選択] : PC 画像送信モード
 - [オプション]
 - [撮影後自動送信] : OFF
 - [送信後ファイル削除] : OFF
 - [RAW+JPEG 送信設定]
 - [順次記録時/バックアップ記録時] : RAW+JPEG
 - [RAW+JPEG 分割記録時] : RAW+JPEG
 - [RAW+HEIF 送信設定]
 - [順次記録時/バックアップ記録時] : RAW+HEIF
 - [RAW+HEIF 分割記録時] : RAW+HEIF
 - [JPEG+JPEG 送信設定] : 主スロット
 - [HEIF+HEIF 送信設定] : 主スロット
 - [RAW 動画送信設定] : RAW 動画+MP4
 - [フォルダー送信] : —
 - [全送信マーク解除] : —
- [FTP サーバーと接続]
 - [接続設定] : —
 - [オプション]
 - [撮影後自動送信] : OFF
 - [送信後ファイル削除] : OFF
 - [RAW+JPEG 送信設定]
 - [順次記録時/バックアップ記録時] : RAW+JPEG
 - [RAW+JPEG 分割記録時] : RAW+JPEG
 - [RAW+HEIF 送信設定]
 - [順次記録時/バックアップ記録時] : RAW+HEIF
 - [RAW+HEIF 分割記録時] : RAW+HEIF
 - [JPEG+JPEG 送信設定] : 主スロット
 - [HEIF+HEIF 送信設定] : 主スロット
 - [RAW 動画送信設定] : RAW 動画+MP4
 - [同名ファイルの上書き] : OFF
 - [未送信画像プロテクト] : OFF
 - [送信記録の保存] : OFF
 - [フォルダー送信] : —

- [全送信マーク解除] : —
- [接続維持の優先] : OFF
- [ルート証明書の管理]
 - [ルート証明書の読み込み] : —
 - [ルート証明書の削除] : —
 - [ルート証明書の情報確認] : —
 - [認証エラー時の接続] : OFF
- [カメラと接続]
 - [連動リリース] : ON
 - [接続設定] : —
 - [マスター/リモート選択] : マスターカメラ
 - [グループ設定] : —
 - [グループ名] : —
 - [日時を同期] : —
 - [著作権情報の上書き] : —
- [ATOMOS AirGlu BT 設定]
 - [ATOMOS AirGlu BT と接続] : OFF
 - [ATOMOS AirGlu BT の登録] : —
 - [ATOMOS AirGlu BT の解除] : —
 - [カメラ名] : NCZ8
- [USB 通信専用端子の設定] : MTP/PTP
- [接続先の周波数帯選択] : (国や地域により異なります)
- [MAC アドレス] : —

マイメニュー/最近設定した項目

- [マイメニュー登録] : —
- [登録項目の削除] : —
- [登録項目の順序変更] : —
- [このタブの機能変更] : マイメニュー

ファームウェア C:2.00 での主な仕様

ファームウェアを C:2.00 にバージョンアップした場合の主な仕様は次の通りです。

型式	
型式	レンズ交換式デジタルカメラ
レンズマウント	ニコン Z マウント
使用レンズ	
使用レンズ	<ul style="list-style-type: none">• Z マウント用 NIKKOR レンズ• F マウント用 NIKKOR レンズ（マウントアダプターが必要、一部機能制限あり）
有効画素数	
有効画素数	4571 万画素
撮像素子	
方式	35.9×23.9 mm サイズ CMOS センサー（フルサイズ/FX フォーマット）
総画素数	5237 万画素
ダスト低減機能	イメージセンサークリーニング、イメージダストオフデータ取得（NX Studio が必要）

記録形式

記録画素数	<ul style="list-style-type: none">• 撮像範囲 [FX (36×24)] の場合 :<ul style="list-style-type: none">- 8256×5504 ピクセル (サイズ L : 45.4 M)- 6192×4128 ピクセル (サイズ M : 25.6 M)- 4128×2752 ピクセル (サイズ S : 11.4 M)• 撮像範囲 [DX (24×16)] の場合 :<ul style="list-style-type: none">- 5392×3592 ピクセル (サイズ L : 19.4 M)- 4032×2688 ピクセル (サイズ M : 10.8 M)- 2688×1792 ピクセル (サイズ S : 4.8 M)• 撮像範囲 [1:1 (24×24)] の場合 :<ul style="list-style-type: none">- 5504×5504 ピクセル (サイズ L : 30.3 M)- 4128×4128 ピクセル (サイズ M : 17.0 M)- 2752×2752 ピクセル (サイズ S : 7.6 M)• 撮像範囲 [16:9 (36×20)] の場合 :<ul style="list-style-type: none">- 8256×4640 ピクセル (サイズ L : 38.3 M)- 6192×3480 ピクセル (サイズ M : 21.5 M)- 4128×2320 ピクセル (サイズ S : 9.6 M)
ファイル形式 (画質モード)	<ul style="list-style-type: none">• NEF (RAW) : RAW 14 ビット (ロスレス圧縮、高効率★、高効率)• JPEG : JPEG-Baseline 準拠、圧縮率 (約) : FINE (1/4)、NORMAL (1/8)、BASIC (1/16) サイズ優先または画質優先選択可能• HEIF : 圧縮率 (約) : FINE (1/4)、NORMAL (1/8)、BASIC (1/16) サイズ優先または画質優先選択可能• NEF (RAW) +JPEG : RAW と JPEG の同時記録可能• NEF (RAW) +HEIF : RAW と HEIF の同時記録可能
ピクチャーコントロールシステム	<p>オート、スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、フラットモノクローム、ディープトーンモノクローム、ポートレート、リッチトーンポートレート、風景、フラット、Creative Picture Control (ドリーム、モーニング、ポップ、サンデー、ソーパー、ドラマ、サイレンス、ブリーチ、メランコリック、ピュア、デニム、トイ、セピア、ブルー、レッド、ピンク、チャコール、グラフィート、バイナリー、カーボン)、いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能</p> <p>※ 静止画撮影で階調モード HLG 設定時は、スタンダード、モノクローム、フラットのみ設定可能</p>

記録形式	
記録媒体	CFexpress カード (Type B)、XQD カード、SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカード (SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードは UHS-II 規格に対応)
ダブルスロット	メモリーカードの順次記録、バックアップ記録、RAW+JPEG 分割記録、RAW+HEIF 分割記録、JPEG+JPEG 分割記録、HEIF+HEIF 分割記録ならびにカード間コピー可能
対応規格	DCF 2.0、Exif 2.32、MPEG-A MIAF
ファインダー	
ファインダー	電子ビューファインダー、1.27cm/0.5 型 Quad-VGA OLED、約 369 万ドット、明るさ調整可能 (オート、マニュアル 18 段階)、カラーカスタマイズ可能、高フレームレート表示可能
視野率	上下左右とも約 100% (対実画面)
倍率	約 0.8 倍 (50mm レンズ使用時、 ∞ 、 -1.0 m^{-1} のとき)
アイポイント	接眼レンズ最後尾から 23mm (-1.0 m^{-1} のとき)
視度調節範囲	$-4 \sim +3 \text{ m}^{-1}$
アイセンサー	ファインダー表示と画像モニター表示の自動切り換え
画像モニター	
画像モニター	チルト式 8cm/3.2 型 TFT 液晶モニター (タッチパネル)、約 210 万ドット、視野角 170°、視野率約 100%、明るさ調整可能 (マニュアル 15 段階)、カラーカスタマイズ可能、縦横チルト可能

シャッター	
型式	電子シャッター、電子シャッター音あり、センサーシールド
シャッタースピード	1/32000～30 秒（ステップ幅：1/3、1/2、1 ステップに変更可能、撮影モード M では 900 秒まで延長可能）、Bulb、Time
フラッシュ同調シャッター速度	1/250 秒または 1/200 秒以下の低速シャッタースピードで同調（1/200～1/250 秒はガイドナンバーが減少）。1/8000 秒までのシャッタースピードでオート FP ハイスピードシンクロ可能
レリーズ機能	
レリーズモード	1 コマ撮影、低速連続撮影、高速連続撮影、ハイスピードフレームキャプチャー +（プリキャプチャー機能あり）、セルフタイマー撮影
連続撮影速度	<ul style="list-style-type: none"> • 低速連続撮影：約 1～10 コマ/秒 • 高速連続撮影：約 10～20 コマ/秒 • ハイスピードフレームキャプチャー + (C30)：約 30 コマ/秒 • ハイスピードフレームキャプチャー + (C60)：約 60 コマ/秒 • ハイスピードフレームキャプチャー + (C120)：約 120 コマ/秒 ※ ニコン試験条件での最大撮影速度
セルフタイマー	作動時間：2、5、10、20 秒、撮影コマ数：1～9 コマ、連続撮影間隔：0.5、1、2、3 秒

露出制御	
測光方式	撮像素子による TTL 測光方式
測光モード	<ul style="list-style-type: none"> • マルチパターン測光 • 中央部重点測光：標準（ϕ12mm 相当）、小さめ（ϕ8mm 相当）、画面全体の平均に変更可能、中央部重点度約 75% • スポット測光：約ϕ4 mm 相当を測光、フォーカスポイントに連動して測光位置可動 • ハイライト重点測光
測光範囲	<p>-3~17 EV</p> <p>※ ISO 100、f/2.0 レンズ使用時、温度 20℃</p>
撮影モード	P ：プログラムオート（プログラムシフト可能）、 S ：シャッター優先オート、 A ：絞り優先オート、 M ：マニュアル
露出補正	範囲： \pm 5 段、補正ステップ：1/3、1/2 ステップに変更可能
AE ロック	輝度値ロック方式
ISO 感度（推奨露光指数）	<p>ISO 64~25600（ステップ幅：1/3、1 ステップに変更可能）、ISO 64 に対し約 0.3、0.7、1 段（ISO 32 相当）の減感、ISO 25600 に対し約 0.3、0.7、1 段、2 段（ISO 102400 相当）の増感、感度自動制御が可能</p> <p>※ 階調モード HLG 設定時は、ISO 400~25600</p>
アクティブ D-ライティング	オート、より強め 2、より強め 1、強め、標準、弱め、しない
多重露出	加算、加算平均、比較明合成、比較暗合成
その他の機能	HDR 合成、静止画フリッカー低減、高周波フリッカー低減

オートフォーカス	
方式	ハイブリッド AF (位相差 AF/コントラスト AF)、AF 補助光付
検出範囲	-7~19 EV (スターライトビュー有効時: -9~19 EV) ※ 静止画モード、シングル AF サーボ (AF-S)、ISO 100、f/1.2 レンズ使用時、温度 20℃
レンズサーボ	<ul style="list-style-type: none"> • オートフォーカス: シングル AF サーボ (AF-S) またはコンティニュアス AF サーボ (AF-C)、フルタイム AF (AF-F) (動画モードのみ)、予測駆動フォーカスあり • マニュアルフォーカス (M): フォーカスエイド可能
フォーカスポイント	493 点 ※ 静止画モード、撮像範囲 FX、シングルポイント AF 時
AF エリアモード	ピンポイント AF (静止画モードのみ)、シングルポイント AF、ダイナミック AF (S、M、L、静止画モードのみ)、ワイドエリア AF (S、L、C1、C2)、オートエリア AF、3D-トラッキング (静止画モードのみ)、ターゲット追尾 (動画モードのみ)
フォーカスロック	サブセレクターの中央押し、またはシングル AF サーボ (AF-S) 時にシャッターボタン半押し
手ブレ補正機能	
ボディ内手ブレ補正	イメージセンサーシフト方式 5 軸補正
レンズ内手ブレ補正	レンズシフト方式 (VR レンズ使用時)

フラッシュ	
調光方式	TTL 調光制御 : i-TTL-BL 調光 (マルチパターン測光、中央部重点測光またはハイライト重点測光)、スタンダード i-TTL 調光 (スポット測光) 可能
フラッシュモード	先幕シンクロ、スローシンクロ、後幕シンクロ、赤目軽減、赤目軽減スローシンクロ、発光禁止
調光補正	範囲 : -3~+1 段、補正ステップ : 1/3、1/2 ステップに変更可能
レディーライト	別売スピードライト使用時に充電完了で点灯、フル発光による露出不足警告時は点滅
アクセサリシュー	ホットシュー (ISO 518) : シンクロ接点、通信接点、セーフティロック機構 (ロック穴) 付
ニコンクリエイティブライティングシステム	i-TTL 調光、電波制御アドバンストワイヤレスライティング、光制御アドバンストワイヤレスライティング、モデリング発光、FV ロック、発光色温度情報伝達、オート FP ハイスピードシンクロ、ユニファイドフラッシュコントロール
ホワイトバランス	
ホワイトバランス	オート (3 種)、自然光オート、晴天、曇天、晴天日陰、電球、蛍光灯 (3 種)、フラッシュ、色温度設定 (2500K~10000K)、プリセットマニュアル (6 件登録可)、全て微調整可能
ブラケティング	
ブラケティング	AE・フラッシュブラケティング、AE ブラケティング、フラッシュブラケティング、ホワイトバランスブラケティング、アクティブ D-ライティングブラケティング
静止画のその他の機能	
静止画のその他の機能	ヴェイネットコントロール、回折補正、自動ゆがみ補正、美肌効果、人物印象調整、インターバルタイマー撮影、フォーカスシフト撮影、ピクセルシフト撮影、オートキャプチャー

動画機能	
測光方式	撮像素子による TTL 測光方式
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光、ハイライト重点測光
記録画素数/フレームレート	<ul style="list-style-type: none"> • 7680×4320 (8K UHD) : 30p/25p/24p • 3840×2160 (4K UHD) : 120p/100p/60p/50p/30p/25p/24p • 1920×1080 : 120p/100p/60p/50p/30p/25p/24p • 1920×1080 スロー : 30p (4 倍) /25p (4 倍) /24p (5 倍) ※ 120p : 119.88fps、100p : 100fps、60p : 59.94fps、50p : 50fps、30p : 29.97fps、25p : 25fps、24p : 23.976fps
記録画素数/フレームレート (RAW 動画)	<ul style="list-style-type: none"> • 8256×4644 : 60p/50p/30p/25p/24p • 5392×3032 : 60p/50p/30p/25p/24p • 4128×2322 : 120p/100p/60p/50p/30p/25p/24p • 3840×2160 : 120p/100p/60p/50p ※ 120p : 119.88fps、100p : 100fps、60p : 59.94fps、50p : 50fps、30p : 29.97fps、25p : 25fps、24p : 23.976fps
ファイル形式	NEV、MOV、MP4
映像圧縮方式	N-RAW (12bit)、Apple ProRes RAW HQ (12bit)、Apple ProRes 422 HQ (10bit)、H.265/HEVC (8bit/10bit)、H.264/AVC (8bit)
音声記録方式	リニア PCM (48KHz 24bit、動画記録ファイル形式が NEV または MOV の場合)、AAC (48KHz 16bit、動画記録ファイル形式が MP4 の場合)
録音装置	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能、マイク感度設定可能、アッテネーター機能
露出補正	範囲 : ±3 段、補正ステップ : 1/3、1/2 ステップに変更可能
ISO 感度 (推奨露光指数)	<ul style="list-style-type: none"> • 撮影モード M : ISO 64～25600 (ステップ幅 : 1/6、1/3、1 ステップに変更可能)、ISO 25600 に対し約 0.3、0.7、1 段、2 段 (ISO 102400 相当) の増感、感度自動制御 (ISO 64～Hi 2.0) が可能、制御上限感度が設定可能 • 撮影モード P、S、A : 感度自動制御 (ISO 64～Hi 2.0)、制御上限感度が設定可能 ※ 階調モード HLG 設定時は、ISO 400～25600

動画機能	
アクティブ D-ライティング	より強め、強め、標準、弱め、しない
動画のその他の機能	タイムラプス動画、電子手ブレ補正、タイムコード、動画 Log (N-Log)、HDR (HLG) 動画、ウェーブフォーム表示、動画撮影中の赤枠表示、動画記録中の拡大表示 (50%、100%、200%、400%)、シャッタースピード延長機能 (撮影モード M 時)、RAW 動画記録時の再生用動画 (プロキシー動画) 同時記録、オーバーサンプリングモードあり、 i メニュー動画撮影情報、ハイレゾズーム、オートキヤプチャー
再生機能	
再生機能	1 コマ再生、サムネイル (約 4、9、72 分割)、拡大再生、拡大再生中のトリミング、動画再生、スライドショー、ヒストグラム表示、ハイライト表示、撮影情報表示、位置情報表示、撮影画像の自動回転、レーティング、フィルター再生、音声メモ入力/再生、IPTC プリセット添付/表示、連続撮影グループ先頭への画像送り、連続撮影画像のグループ再生表示、動画再生時の一括フレーム保存、比較動合成
インターフェース	
USB	Type-C 端子 <ul style="list-style-type: none"> • USB 通信専用端子 (SuperSpeed USB) ×1 口 • USB 充電専用端子×1 口
HDMI 出力	HDMI 端子 (Type A)
外部マイク入力	ステレオミニジャック (ø3.5mm)、プラグインパワーマイク対応
ヘッドホン出力	ステレオミニジャック (ø3.5 mm)
10 ピンターミナル	あり (別売リモートコード MC-30A/MC-36A など使用可能)

Wi-Fi (無線 LAN) ・ Bluetooth

Wi-Fi	<ul style="list-style-type: none">• 準拠規格 : IEEE802.11b/g/n/a/ac• 周波数範囲 (中心周波数) : 2412~2472 MHz (13ch)、5180~5700 MHz• 出力 (EIRP) :<ul style="list-style-type: none">- 2.4 GHz : 1.4 dBm- 5 GHz (5180 MHz~5320 MHz) : 10.8 dBm- 5 GHz (5500 MHz~5700 MHz) : 7.8 dBm• 認証方式 : オープンシステム、WPA2-PSK、WPA3-SAE
Bluetooth	<ul style="list-style-type: none">• 通信方式 : Bluetooth 標準規格 Ver.5.0• 周波数範囲 (中心周波数) :<ul style="list-style-type: none">- Bluetooth : 2402~2480 MHz- Bluetooth Low Energy : 2402~2480 MHz• 出力 (EIRP) :<ul style="list-style-type: none">- Bluetooth : -4.1 dBm- Bluetooth Low Energy : -5.6 dBm
電源	
使用電池	<p>Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15c[※] 1 個使用</p> <p>※ EN-EL15c の代わりに EN-EL15b/EN-EL15a も使えます。ただし、EN-EL15c を使用したときよりも撮影可能コマ数 (電池寿命) が減少します。本体充電 AC アダプター EH-7P または AC アダプター EH-8P を使用して充電する場合は、EN-EL15c/EN-EL15b のみ充電可能です。</p>
バッテリーパック	<p>パワーバッテリーパック MB-N12 (別売) : Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15c[※] 2 個使用</p> <p>※ EN-EL15c の代わりに EN-EL15b/EN-EL15a も使えます。ただし、EN-EL15c を使用したときよりも撮影可能コマ数 (電池寿命) が減少します。</p>
AC アダプター	<ul style="list-style-type: none">• 本体充電 AC アダプター EH-7P (別売)• AC アダプター EH-8P (USB ケーブル UC-E25 と組み合わせて使用) (別売)• AC アダプター EH-5d/EH-5c/EH-5b (パワーコネクタ EP-5B と組み合わせて使用) (別売)

三脚ネジ穴	
三脚ネジ穴	0.635cm (1/4 型、ISO 1222)
寸法・質量	
寸法 (W×H×D)	約 144×118.5×83 mm
質量	約 910 g (バッテリーおよびメモリーカードを含む、ボディーキャップ、アクセサリースューカバーを除く)、約 820 g (本体のみ)
動作環境	
温度	-10℃～40℃
湿度	85%以下 (結露しないこと)

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格またはガイドラインに準拠しています。
- 仕様中のデータは、フル充電バッテリー使用時のものです。
- 本書では、35mm 判カメラに準じた画角 (フルサイズ) を「FX フォーマット」または「FX」、APS-C サイズに準じた画角を「DX フォーマット」または「DX」と表記しています。
- カメラに表示されるサンプル画像、および本書記載の画像やイラストは、機能を説明するためのイメージです。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

索引

索引

マーク・英数字

- 1920×1080 24p 5 倍スロー ([🔗 38](#))
- 1920×1080 25p 4 倍スロー ([🔗 38](#))
- 1920×1080 30p 4 倍スロー ([🔗 38](#))
- AE・フラッシュブラケティング ([🔗 9](#))
- AE ブラケティング ([🔗 9](#))
- AF 時の被写体検出設定 ([🔗 8](#))
- FTP サーバーと接続 ([🔗 68](#))
- HEIF+HEIF 分割記録 (副スロットの機能) ([🔗 12](#))
- IPTC プリセット ([🔗 63](#))
- JPEG+JPEG 分割記録 (副スロットの機能) ([🔗 12](#))
- M モード時の ISO 感度 ([🔗 41](#))
- N-Log ([🔗 41](#))

ア

- オートキャプチャー ([🔗 19](#))
- オートキャプチャー設定画面 ([🔗 20](#))
- オートブラケティング ([🔗 9](#))

カ

- カードの初期化 (フォーマット) ([🔗 60](#))
- カスタムボタンの機能 (再生) ([🔗 57](#))
- カスタムボタンの機能 (撮影) ([🔗 54](#))
- カスタムボタンの機能 ([🔗 54](#))
- カメラと接続 ([🔗 69](#)、[🔗 87](#))
- 距離表示単位の設定 ([🔗 67](#))
- グループ再生の設定 ([🔗 46](#))
- グループ設定 ([🔗 69](#))

サ

- 再生の速度 ([🔗 45](#))
- 自動連続再生の設定 ([🔗 46](#))
- ズーム位置の記憶 (PZ レンズ) ([🔗 49](#))
- スローモーション動画 ([🔗 38](#))
- 送信指定 (FTP) ([🔗 43](#))
- 送信指定 (PC) ([🔗 43](#))

タ

- 縦横位置情報の記録 ([🔗 47](#))
- 著作権情報の上書き ([🔗 87](#))
- ディープトーンモノクローム (ピクチャーコントロール) ([🔗 10](#))
- 電子音 ([🔗 64](#))

ハ

- ハイスピードフレームキャプチャー + ([🔗 37](#))
- ハイレゾズーム ([🔗 40](#))
- ハイレゾズーム速度 ([🔗 42](#))
- パワーズームのボタン操作 (PZ レンズ) ([🔗 48](#))
- 半押し拡大解除 (MF) ([🔗 52](#))
- ピクセルシフト撮影 ([🔗 13](#))
- ピクチャーコントロール ([🔗 10](#))
- ファームウェアバージョン ([🔗 5](#))
- ファインダー表示サイズ ([🔗 66](#))
- フォーカスポイントの太さ ([🔗 50](#))
- フォーカスポイント表示 ([🔗 50](#))
- 副スロットの機能 (副スロットの機能) ([🔗 12](#))
- 物理フォーマット ([🔗 60](#))
- フラッシュブラケティング ([🔗 9](#))

フラットモノクローム (ピクチャーコントロール) ([10](#))

プリキャプチャー記録設定 ([37](#))

ヤ

優先送信指定 (FTP) ([44](#))

優先送信指定 (PC) ([44](#))

ラ

リッチトーンポートレート (ピクチャーコントロール) ([10](#))

レンズ情報手動設定 ([62](#))

連動レリーズ ([69](#))

露出ディレイモード ([51](#))

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン** イメージング ジャパン